



同窓会報



◆発行◆宮城県仙台第二高等学校同窓会 〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1 ☎022-221-5651(直通)
 ◆Eメール◆info@sendainiko-dousoukai.com ◆URL◆http://www.sendainiko-dousoukai.com
 ◆印刷◆創文印刷出版株式会社 〒980-0821 仙台市青葉区春日町8番34号 ☎022-222-0181

第 55 号



令和4年度大運動会

目次

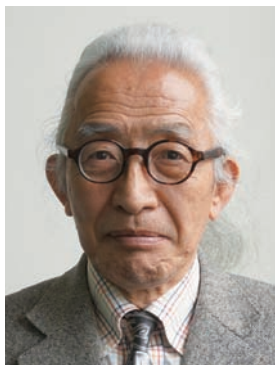
巻頭言	2
回想録	4
校長挨拶	6
前校長寄稿	7
支部総会・同期会等開催報告	8
寄稿	11
理事会からのお知らせ	12
二〇二二年度 同窓会総会のご案内、PT同窓のご案内	13
支部・OB会連絡先	14
二〇二二年度 年間行事予定、評議員名簿	16
評議員会報告、理事会等記録	17
一般会計・特別会計二〇二二年度収支決算報告	18
会費納入について、同窓会理事及び会務分担	19
二〇二二年度 同窓会会費納入についてのお願い、 寄付納入のお願い	20
二〇二二年度 同窓会会費納入状況	21
同窓会入会式・卒業式・入学式の報告	22
定期戦、ゴルフ対抗戦、叙勲受章者、寄贈図書	23
過去三年間の大学入試合格状況	24
部活動の記録	25
会員計報	31
今春の人事異動、メーリングリスト「再登録」のお願い、 Webサイト活性化のお願い、交通の便、編集後記	32

巻頭言

「同窓会長に就任して」

旧仙台二中・仙台二高同窓会会長

佐藤 一郎（高17回）



はじめに

大変立派に務められ、同窓会活動を軌道に乗せていただいた大井龍司先生の後塵を拝して、令和三年七月より仙台二高同窓会会長を拝命いたしました。最初、お話があった時、わたくしが同窓会会長という重責がつとまるかどうか、とても迷いました。

二高時代は、美術部、応援団副団長と、同級生仲間と愉快に過ごした思い出で彩られています。工学部志望の数学大好き人間が、みずからの進路を転回させ、画家の道をこころざしたからです。心の隅のどこかに、二高生の進むべき王道から外れてしまった思いも残っていたからです。

一年浪人して東京藝術大学絵画科油画専攻に入学しました。西ドイツ留学後、母校の教官となり、

足掛け三四年間、教育・研究・画家として、忙しく過ごしました。定年後、金沢美術工芸大学大学院専任教授を経て、三年前、東北生活文化大学学長となり、仙台に戻ってきたわけです。鶴の恩返しになるかどうかは分かりませんが、精一杯、会長職を努めさせていただきます。

理事会「審議事項」

会長就任後、例年通り、毎月一回理事会が開催され、さすが仙台二高の組織運営だと、感服しております。審議した主な議題をわたくしなりに列挙していきます。

一、佐藤裕洋理事、千田耕一理事が副会長に選任され、谷口秀樹副会長は留任となりました。

二、わたくしが、大井龍司前会長の長年の御功績に対して名誉会長に推戴しましたが、審議の結果、任期を定めず就任していただくことになりました。

三、「北陵館」は、仙台二中・仙台二高創立百周年を記念して建設され、創立百周年記念事業委員会から、宮城県に寄付された施設であります。「北陵館管理規定・

使用規定」を、高校側と同窓会副会長三名が協議し、現状に合わせて見直しを行いました。

第4条「施設運営のために、必要に応じて、北陵館運営委員会を開催する。」となり、高校（教頭、事務室長、主幹教諭など二名）、同窓会（副会長、事務局長、二名）、PTA（副会長、事務局長、二名）で構成され、教頭が委員長となります。

第5条「北陵館の使用許可は、原則的に団体単位とし、使用責任者が北陵館使用許可申請書を提出し、承認を得る。」となっています。

四、宮城県教育委員会から後藤順一校長に「青葉城址、宮城縣護國神社横にある「愛知揆一像」を宮城県に寄贈したいとの申し込みがあり、愛知揆一氏（中25回卒業）の母校である仙台二高に設置してはどうか」と、打診がありました。銅像移設に関して審議し、仙台二高および宮城県教育委員会の意向を尊重すると、校長に伝えました。

四月初旬、わたくしは大手門跡から登り、「愛知揆一像」を、仰ぎ見ました。思っていたよりも巨大であり、高さ五メートル、敷地は横幅六・二五、奥行八・五メートルでした。植栽も加えるとい回り大きくなります。個人的な見解としては、ブロンズ像の大きさを踏まえ、周辺と調和する適切な場所に、設置されることを望みます。

理事会での会長報告

一、在京同窓会が支部総会（十二月二日、二時—四時、司会…練生川敦志）が、オンラインで開催され、来賓として後藤順一校長、佐藤一郎同窓会長、横山佳司事務局長が参加し、現在の各校舎内外の様子と、わたくしのビデオメッセージも流されました。

二、校長と同窓会会長の「新年の挨拶」が令和四年一月七日に、在校生全員に行われ、わたくしは、三階の陶板壁画「修羅と菩薩」（制作…佐藤一郎）を背景にしての、ビデオメッセージでした。

三、大井龍司名誉会長が第六六回河北文化賞（平成二九年）を受賞した際に、賞金一〇〇万円を、仙台二高に寄贈しております。令和三年度、美術大学を目指す齊藤美帆三年次生徒が「大井奨学金」奨学生として採用されました。

四、「同窓会人会式」（二月二八日午前十時）が挙行され、同窓会からは、わたくし佐藤一郎と、佐藤裕洋、千田耕一、谷口秀樹の三

人の副会長が出席しました。谷口秀樹副会長より、同窓会活動とその歩みについて、画像を映しながら説明がありました。令和三年度の、評議員（福田みちる、宮崎ローレンス）、常任委員（村尾桃、百束綾乃、大竹快青、福田みちる、菊池志乃、高橋希実、千葉峻平、宮崎ローレンス）に、同窓会長から委嘱状が手渡されました。

なお、評議員は、それぞれ福島医大、東北大学医学部に進学し、国立医学部三十七名合格とのことです。野球部から二名（石井優成、酒井捷）、東大に進学し、野球部に入部予定と聞いております。東大は現役一名、浪人一名、東北大は併せて九四名と聞きました。

五、「卒業式」（三月一日午前十時）が挙行され、わたくしは、父兄代表者とともに、講堂に参列しました。コロナ禍のために、父兄は各教室においてオンラインで視聴しました。各組ごとに整然と入場し、三密を避けて座り、一組から八組まで、一人ひとりの名前が



青葉城址、宮城縣護國神社横にある「愛知揆一像」（制作：佐藤忠良）

呼び上げられ起立し、各組代表の学生に後藤順一学長から卒業証書が授与されました。厳粛であり、「はい」という返事が講堂に響き渡りました。後藤校長の式辞後、わたくしの祝辞が続きました。

令和三年度、卒業式祝辞

宮城県における、新型コロナウイルスによる感染拡大はとどまることを知らず、大変心配しておりましたが、宮城県仙台第二高等学校における、令和三年度、第七四回卒業生に対する卒業式がこ講堂において、無事挙行されることとなり、胸をなで下ろしております。

栄えある今日を迎えた卒業生は、男子一八四名、女子二九名、合計三二三名とお聞きしております。宮城県仙台第二高等学校同窓会を代表いたしまして卒業生の皆さんにお祝いを申し上げますと共に、一日千秋の思いで今日を待っておられた保護者の方々に對しても衷心よりお祝い申し上げます。

世界は、時間と空間が狭まり、もうすでに、「グローバルな地球社会」となっており、政治、経済、法律、生活、文化のあらゆる領域が、互いに密接につながっております。そのため、このような地球環境の構造的変容に対応して、高度情報化社会に対応する人材養成が急務となり、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実

空間）を高度に融合させたシステムによる、人間中心の社会を作り出そうとしています。このような社会構造の変革に対応した政策、ソサエティ五・〇（Society 5.0）が進められています。そのためには、コミュニケーションスキル、数量的スキル、情報リテラシーなど、実生活に必要な AI（人工）知能を扱う技術、それと、人文・社会科学、文化・藝術などの幅広い教養の涵養が求められています。

他方、新型コロナウイルス感染者増加は、まさに「グローバルな地球社会」そのものを、マインナスの意味で、あからさまに示す、結果でもあります。世界の累計感染者は、二月二五日現在、四億三〇二五万七五六四人、日本国内は四八九万九二〇五人、依然として地球全体を覆う勢いです。わたしたち一人ひとりが向き合わざるをえず、日本人の日常生活に響いてきております。本日のこの卒業式そのものも、「グローバルな地球社会」の網目から免れることはできないわけです。

このような昨今の「グローバルな地球社会」の進展に伴い、人間の生活と文化は一様化、均一化の方向に向かっていくのかもしれない。その結果、国、地域ごとに培われてきた伝承のおよび伝統的な生活と文化がそれぞれの個性を失い、無色、透明な状態となり、個人一人ひとりの違いがなくなっ

てくるように思えます。このような社会環境のもとでは、人間は知らず知らずのうちに心の奥深くにある本来の「自分自身、自己」の姿を見ようとせず、その結果、「自分自身」の、氷山の一角に過ぎない、表面に見出される「自意識、自我」に頼ることになります。そして、短絡的に結果を求める、たとえば偏差値至上主義や、極端な拝金主義も生まれるのではないのでしょうか。このような、いわゆる自己疎外の問題を克服するには、わたしたちはどのようにこれから生きてゆけばよいのでしょうか。

歴史を振りかえれば、いつの時代、どの地域においてもそうですが、とくに、明治維新後の日本は、その当時の米英の指導する「グローバルな地球社会」に参加せざるをえず、あらゆる領域において、西洋化、文明開化が叫ばれた時代でした。その明治三三（一九〇〇）年、本学、すなわち宮城県第二中学校が、仙台市南町に設立されました。宮城県仙台第二高等学校は、一昨年ですが、令和二（二〇二〇）年、創立百二〇周年を迎えております。おおよそその歴史の半分の時期、昭和三七（一九六二）年、仙台二高に、わたくしは進学しています。

けるバブリックスクールを例に挙げ、「かく厳格なる教育が、それによって期するところは何であるか。それは正邪の観念を明にし、正を正とし邪を邪としてはばからぬ道徳的勇気を養ひ、各人がかかる勇氣を持つところにそこに始めて真の自由の保障がある所以を教えることに在ると思ふ」という訓示でありました。他方、小坪さんは、東京大学総長を務めた南原繁さんの講演も企画しました。かなりの老人の立ち振る舞いだったのですが、「人間性の確立、自主独立の精神、そして正義に基づく平和、特に国際平和」を説いていた記憶があります。

仙台に戻り、さまざまな分野で活躍してきた同級生たちと欲談すると、すでにわれわれは七〇代半ばですが、このような高校時代の薫陶がいまだに生かされていると感じています。

三船久蔵自筆の「文武一道」が柔道場に掲げられ、校訓となっておりです。「業ハ科學的研究ノ上ニ樹テル技術的修鍊ナリ。」學術と武術は、分かち難くしつかりと組み合った一本の道であり、心技一体となって未来へと続いていく「生き方」と、解釈してみたいと思っています。

この本学の校訓を胸に刻み、「自意識、自我」の奥深くに宿る本来の「自分自身、自己」の姿をみずからが自覚しえるようになると、

個人としての主体性が発揮できるようになります。そうなれば、今後、大多数の皆さんは、大学に進学して、四年間、持続してこつこつと、各学部、各学科、各専攻に応じた環境のなかで、一人ひとりに課せられた「感覚する力と創造する力との絆」をしっかりと鍛えるのです。その結果、卒業後の働くことの楽しみや自由を享受できる基盤が形成されるのではないのでしょうか。

このようにして、本来の真の自己探求を一人ひとりが実践すれば、それが束となって、多様性に満ちたエネルギーの総体が生み出されるのです。それが、新たな日本創生の原動力にもなることでしょう。日本列島という、東北という「ローカルな地域社会」と、「グローバルな地球社会」との協働による理想的な形を実現すべく、二一世紀は、卒業式に列席している皆さんをはじめとする、若人の活躍する世紀であると確信しております。

宮城県仙台第二高等学校同窓会会員一同、並びに教職員一同、皆さんのご卒業を心からお祝いし、本来の真の自己探求に励み、「ローカルな地域社会」と「グローバルな地球社会」の一員として、ハイブリッドに取り組み、成長、そして貢献なさることを祈念し、祝辞といたします。

回想録

「同窓会長在任十年間を振り返って」
旧仙台二中・仙台二高同窓会名誉会長
大井 龍司（高10回）

はじめに

今回同窓会長を退任するにあたって在任約十年間を振り返り、思い起こすこと、思い残すこと、それらはある意味この十年間を総括することにもなりますので、敢えて同窓会報に書き残すことにしました。記述事項を取捨選択してなるべく簡潔にとは思ったのですが、それでもかなりの長文になりましたことをお許しください。

まずは「感謝」です。昭和十四年（最初の名簿に会則と委員名が記載され会長は校長。昭和二十四年に校長以外の同窓生が会長に就任）以来、紆余曲折あるなか連綿と同窓会活動を維持された先輩諸兄に感謝しなければなりません。その上で、私の会長在任中の約十年間、大変人使いの荒い会長と真

摯に会務をまっとうして下さった理事各位、さらには評議員や常任委員、全国の支部会会員をはじめとする会員諸氏のご理解、ご協力、ご支援にはここから深く感謝しています（写真1）。またその間、私ども同窓会活動に温かいご理解を賜った五人の校長先生（庄司恒一氏、渡邊幸雄氏、長島勝彦氏、久保義洋氏、後藤順一氏各先生）はじめすべての教職員の方々、さらには同時代ともに生徒諸君のための会務に携わったPTA役員の方々にも厚く御礼を申し上げます。

忘れてならないのは現役



（写真1）新旧理事交代懇親会（2017/7/19）、北京料理店「飛天」

生徒諸君への感謝です。私は入学式ほか事ある度に「母校での三年間、君たちは勉学にのみ専念するのではなく多くのことに挑戦し、自らの可能性を高めてほしい」と伝え続けてきましたが、彼ら彼女らはそれを実践し、母校の飛躍に貢献してくれています。後輩諸君には、これまでの伝統を単に引き継ぐだけでなく、さらに高く重く積み上げてほしいと願っています。

次に、何故この時期に同窓会長

を辞すかということです。それについては既に同窓会公式HPや北陵ニュースレターで簡単に述べていますが、改めてやや詳しく申し上げたいと思います。その主な理由は以下の三点です。

一点目は、会長任期が十年にも及んだことです。二〇一一年十月二十二日、同窓生の某氏から、突然私に「是非会長を引き受けてもらいたい」との電話がありました。私は母校卒業後、生業とする仕事に没頭するあまり、全くと言ってよいほど母校の同窓会活動には関与していなかった、また私ごときはその任に相応しくないと固辞いたしました。その後、時の理事会の幹部諸氏数名が小生を訪れ、直接「現西澤会長の強い推薦である、四年位で良いのでは是非引き受けてくれ」と説得されました。それでも迷っていたところ、複数の方々から強く背中を押されたこともあり、結局会長役を引き受けることにしました。我が家では、父親、兄弟、長男を含めて男子7名すべてが仙台二中・二高にお世話になったこともあり、その御恩返しという思いもありました。それ以降の足掛け十年間、私が好む故事「季布の一諾」にあるように、「やると決めたら徹底的に」という気質から会長役務に当たってきましたが、母校の同窓生は多士済々、私も「講堂の階段の上り下りが不

自由になる前に」と退任を決意した次第です。

二点目は、この十年間で、当時低調であった同窓会活動が復活しほぼ軌道に乗ったことです。平成十九年の母校の男女共学化に関しては、同窓会員の間でも賛否両論がありました。どちらかと言えば「否」を唱える会員が多かったこともあり、その影響が尾を引いてか、それ以後同窓会活動が徐々に衰退し、私が会長に就任した頃には極めて低調でありました。

ここではそれらの事象を枚挙することは致しませんが、一つだけ私がかつとも仰天した事例を紹介します。それは総会やPTA同窓会合同新年会（PT同窓）の企画や実行を所掌する当番回期制が、事実上機能不全に陥っていたことです。会長就任後最初のPT同窓にあたり、例によって当番回期生諸氏には理事会との打ち合わせ会の案内状を送付しました。ところが当日はその場に当番回期生は一人も現れず、慌てて電話を掛け捲った結果ようやく三名の方が参会し、辛うじて会が成立したというあり様でした。なお今では当番回期制は復活し、総会やPT同窓を見事に仕切ってくれるようになっています。例えば、私の退任が承認された令和三年度の総会は、コロナ禍の中会場とオンラインのハイブリッド方式で行われました

が、それを企画し実行することができたのも、今回の当番回生皆さんのご尽力に依るものでした。これは今後の同窓会活動での会議の在り方を示唆するものであらうと思います。

さらに関連話題を続けます。私は就任時、会長として時代の変化に適切に対応するには「止める、縮める、変える、強化する、新しく取り入れる」を実行しなければと約束しました。その成果については、逐一ここで列挙することはいたしません。ただ時の理事会内の合言葉が「日本一の同窓会



(写真2) 九州北陵会設立総会(2018/6/30)、新日鉄「大谷会館(北九州市)」にて

は北は北海道から南は九州まで(現在四国支部開設準備中)、さらにNew Yorkなど海外にまで展開しています。国内外にこれほど多くの支部を擁する高校同窓会は他に類をみないでしょう、この点では「我らが同窓会は日本一」と言っても良いのではないかと思います。全国各地の支部総会に校長ともどもお招きいただき参会する度に、同窓生諸氏が、地元を遠く離れて今もなお持ち続けている母校に対する熱い思いを、その都度実感させられました。

に！」ということでしたので、これに関する一件のみ披露させていただきます。何を以て日本一？その答えは大変難しいですが、一つの指標として「同窓会支部の数と地域的広がり」が挙げられるのではないかと思います。母校の同窓会は、以前から県内外に多くの支部を有していましたが、この十年間で九州をはじめとして県内外数か所で支部が新設され



(写真3) 創立120周年史

三点目は創立百二十年記念事業の遂行です。一九〇〇年に宮城県仙台第二中学校として開設した母校の創立百二十年を祝うため、二〇一七年(日二十九年)八月二十二日、学校、PTA、同窓会が三位一体となる記念事業実行委員会が設置されました。以後約三年間で十三回の委員会を開催し鋭意準備を進めてきましたが、残念ながら新型コロナウイルスによるコロナ禍のために、二〇二〇年十一月十三日に予定し準備万端整っていた記念式典、祝賀会を中止せざるを得なくなりました。とはいえ実行委員や専門委員各位の大変なご努力で、創立百二十年史を編纂刊行し(写真3)、また学内での代替え記念式典を行うことができました。加えて武藤順九氏(高20回)からは、創立百二十年を祝うとともに東日本大震災の鎮魂の意味をも込めた記念モニュメント



(写真4) 記念モニュメント「CIRCLE WIND 2011 絆」除幕式 (2019/06/11)

「CIRCLE WIND 2011 絆」を寄贈いただきました(写真4)。学校の玄関ホールに設置。また特筆すべきは、実行総務委員会と河北新報社の同窓生とが中心になって企画した同紙上の特集記事の掲載です。当初朝刊一面でと企画していたものが、同窓生からの広告応募が予想を大幅に上回り、記念式典が予定されていた十一月十三日、まさにその日の河北新報朝刊四面ぶち抜きで掲載されました。これは旧仙台二中、二高同窓生の底力、母校への深い愛情を改めて認識する機会になりました。

なお当初の記念事業案の中で一件残念なことがありました。それは昨今の個人情報保護の観点から「同窓会会員名簿」の刊行を中止せざるを得なかったことです。ただ、

それに代わる事業として、事務局での「同窓会員のデータベース整備」がおおいに進捗し、災い転じて福となすと言う結果になりました。これには、新たに充実を図った同窓会公式HPの「同窓会会員登録フォーム」がおおいに役立っていますので、是非活用してもらいたいと思います。

以上退任理由に沿って順次話を進めてきましたが、ここで母校同窓会の発展を願う意味あいから、私が会長として「やり残して残念に思う諸事」の内から三点書き残しておくことにします。

一点目は「会費納入の件」です。会長就任時、同窓会費(年会費¥三、〇〇〇)の納入率が全会員の約12%、住所判明者の約22%と極めて低い状況にあり、諸々事業費用の削減に努めなければならませんでした(同窓会報を年二回から一回に。それに代わるものとして簡便な北陵ニュースレターを発行など)。理事会としては、納入率改善のため「入るを図りて出ざるを制す」とばかりに広報活動その他手を尽くしましたが、残念ながら目に見えて改善させることができませんでした。その一方、理事会では二〇一七年度から同窓生諸氏のご厚意に甘えてはどうかと寄付をお願いすることにしました。これにも予想を上回るご芳志をいた

だき深く感謝しています。本件一つとっても、同窓生諸氏の母校への思いが伺われまことに心強い限りです。

二点目は「評議員「未」整備」の件です。評議員は理事とともに同窓会活動を支える重要な役割を担っていますので、その評議員が不在の回期が多数あるということとは同窓会にとって看過できない問題です。理事会としてはそれらの回期卒業生に充足方をしばしば呼



(写真5) 同窓会入会式後、新評議員諸君と校長室にて

像を駆使して同窓会の活動を紹介します。また従来どおり評議員、常任委員の委嘱を行った後「卒業回期の旗」を寄贈(支部会やOB会等にも)していますので、向後、評議員や常任委員のみならず、同窓会の開催など卒業生全員が母校同窓会への意識をたかめてもらいたいと願っています。(写真5)

三点目は「同窓会館「北陵館」事務局室」の実情です。会長就任後、事務局室に一步足を踏み入れ

びかけました。が、なかなか捗りませんでした。従前評議員は各卒業回期1名であつたものを、男女共学後の高64回期からは男女それぞれ各一名に変更し、以降それが徹底してはいますが、さらに評議員会全体の整備を進めなければなりません。なお卒業式前日の同窓会入会式では、卒業生を前にして新たに画像を駆使して同窓会の活動を紹介します。また従来どおり評議員、常任委員の委嘱を行った後「卒業回期の旗」を寄贈(支部会やOB会等にも)していますので、向後、評議員や常任委員のみならず、同窓会の開催など卒業生全員が母校同窓会への意識をたかめてもらいたいと願っています。(写真5)

た時、私は「これが天下の仙台二高同窓会事務局なのか」とそのあまりのみすばらしさに愕然としたものです。その事務局たるや十数人での会議ができるスペースの他は、多量の資料を雑然と収める棚が占めているという状態、つまり数脚の机・椅子と倉庫然というものでした。それ以来、なんとか仙台二高同窓会に相応しい事務局の整備を、つまり役員室(兼記念資料展示室)、会議室、それに従来とおりの事務局をと頭に描き続けましたが、如何せん北陵館は県の施設であるということと、そもそも資金面での課題から、雑然とした資料棚の整理だけはと見積もりまでは取りましたが、それもコロナ禍のため執行しえず、手つかずのまま現在に至りました。

とところで私の会長在任中「母校の硬式野球部が、春、夏を問わず四回目の甲子園大会出場を果たし、阪神甲子園球場のアルプススタンドで「あなたふと あなうるはし」を唱いあげる」という夢は叶いませんでした。しかし近い将来、母校のもう一つの大きな夢「同窓生のノーベル賞受賞」など、三船久蔵大先輩(中3回、明治三十六年卒)の遺訓「文武一道」を具現する百二十年間超の素晴らしい記念資料が、同窓会館の一室に数多くあること、何年か後には「これぞ仙台二高の同窓会事務局」と胸を張れるような施設に生まれ変わ

わることを念願しています。

もう一点追加です。最近「仙台第二高校」との呼称をよく目や耳にしますが、私はその文言に強い違和感を覚えます。我々の母校は仙台第二高校ではありません、仙台二高です。「仙台二高」は、我々同窓生の気持ちの中で既に固有名詞化しているのです。

結びです。この度、私の退任を認めてくださった同窓会諸氏には重ねて厚く御礼申し上げますとともに、高17回の佐藤一郎新会長を中心にして同窓会の今後益々の発展充実、ならびに母校仙台二高

の更なる飛躍をこころから祈念して、甚だ長文になりましたことのお詫び方々、また現在地球を席捲している新型コロナウイルス並びにその変異株によるパンデミックの一日も早い終息を願いつつ、この回想録を閉じさせていただきます。(令和三年九月)

(附) 新理事会では、私を名誉会長に推戴してくださいました。大変光栄なことですので僭越ではありますが、深く感謝しながらこのお申し出を謹んで受諾させていただきました。

校長挨拶

「いあひる」

校長

高橋 賢(高35回)



薫風緑樹をわたる季節を迎え、同窓生の皆様方におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より母校の教育活動に対しまして、一方ならぬご支援、

ご協力をいただいておりますことに心より厚く感謝申し上げます。私こと、このたび、四月一日付で宮城県総合教育センターから異動し、本校に着任いたしました。三十九年ぶりの母校であります。私が卒業した時は、現在の校舎が完成する目前であり、新しい綺麗な校舎で過ごしたかったという思いでした。その校舎も三十八年経過し、歴史を感じさせる校舎になっていますが、私にとっては三十九年越しの念願の新校舎でこ

ざいます。気持ちちは高校時代に戻り、常に学ぶことを忘れず、同窓生の皆様と一緒に、在籍する生徒のために、愛する仙台二高の発展のために、全力で教育活動を推進していきたいと考えております。

さて、四月八日の入学式には、佐藤 一郎会長のご臨席を賜り、心に残る励ましの言葉を頂戴し、三二一名の新入生、教職員一同、決意も新たに新年度を迎えております。コロナ禍の社会が三年目となり、制限された中での活動が続いておりますが、これまで得られた知見をもとに、感染症対策を徹底しながら、普段の授業とともに、二高ならではの学校行事を充実させ、人間力を高める教育活動を積極的に行っていくと考えております。また、今年度から新学習指導要領が年次進行で実施となります。「主体的・対話的で深い学び」が求められています。特に二高生には、身に付けた知識がネットワーク化し、自在に活用できるような「深い学び」の実現を、探究的な学習等を通して図っていききたいと思

います。想像性、強靱さ、自己調整といった力を付けるとともに、他者のアイディアや見方、価値観を尊重し、その価値を認めることが求められています。また、失敗や否定されることに対処し、逆境に立ち向かって前に進んでいく力も必要であると思います。次世代を担うリーダーとして、本校の生徒にそのような力を育成していくことが大切ですが、新しい教育だけに目を向けるのではなく、本校の長年にわたる教育目標である「至誠業に励み、雄大剛健の風を養い、ともに敬愛切磋を怠らず」の考えや「文武一道」の精神を中心に据えた教育を行っていくことが、どのような社会であらうとも必要とされる人材の育成につながるものと考えております。不易と流行と言われますが、教育の内容や方法は、日々変化していくことでも、二高の教育の根本となる精神は、変わらずに受けつないでいきたいと思いますので、是非、同窓生の皆様には、今後の社会で活躍する人材である二高生に、様々な場面でお力添えをいただきたいと願っております。

最後になりますが、同窓会の益々のご発展と、同窓会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ともに、母校に対しまして変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

寄稿

「感謝。そして、願い。」

前校長 後藤 順一（高33回）



仙台二高同窓会の皆様、二年間の御支援・御協力、誠にありがとうございます。コロナ禍の二年

間でしたが、皆様のおかげで何とか教育活動を進めることができました。

しかしながら、心残りには創立百二十周年の年に赴任して、それまで前会長である大井龍司様の十年間に及ぶ御労苦に応えることができなかったことでもあります。今思えば、校長としても少し強い決断があれば、何かできることもあったのではないかと自責の念に駆られております。

大井前会長様には、コロナ禍で休校になった時に私たち教職員の〇〇〇〇導入のお願いを即決で受け入れていただき、奨学会から支援をいただきました。そのスピーディーな対応のおかげで、複数のチャンネルで生徒の教育活動を進めることができました。また、ア

メリカ研修や東京研修の代替教育活動に対しても、教職員の思いを受け入れていただき、生徒の活動を支えていただきました。仙台二高生がコロナ禍でも落ち着いて前進できましたのも、同窓会の皆様の後輩を想う御支援の賜物であったと思います。学校の経営を携わる者としては、感謝の言葉しかありませんでした。

二高生もそのような同窓生の想いを感じ、逆境の中、素晴らしい高校生活を送ってくれたと思っております。進路達成では現役での

第一目標の達成が見られ、令和三年度入試では東北大学現役合格六十九名、東京大学合格九名、令和四年度入試では東北大七十三名、東大十一名と素晴らしい成果を上げ、医学部医学科合格者数でも全国で注目されることとなりました。学校を支える人達の想いを力に変え、結果を出すという頼もしい『北陵健児』達は、私たち教職員の誇りでもありました。

さて、私も二年間の役割を終え、様々な想いをもって母校を去ることになりましたが、一つだけ同窓生の皆様にお願いがございます。それは、公教育の限界を超える部分に関して、今後も御支援いた

きたいということです。東北一の難関大学進学校である仙台二高ではありませんが、宮城県としては公立高校の一つという扱いでしかありません。施設設備の改善は順番待ち、新しい高大接続対応では県としての仙台二高に対する重点施策もありません。そのような中で、これまで以上に成果を上げるためには、県に頼るだけではなく、仙台二高を支える力の結集が欠かせないと思います。その中心にあり、まず同窓会・奨学会には今後より一層、教職員の生徒を想う教育活動に人的・資金的な御支援をお願いしたいと思っております。宜しくお願ひいたします。私も同窓生として微力ながら支援していきたいと思っております。

末筆となりますが、母校である仙台二高のますますの発展と『北陵健児』の様々な分野での活躍を期待し、併せて同窓会の皆様の御多幸と御健勝を祈念しまして、退任・退職の挨拶といたします。本当にお世話になりました。

支部総会等 開催報告

支部総会報告

コロナ禍の

支部懇親会で思うこと

渡邊 和雄（高21回）

小生は岩沼支部事務局として、大井前会長と同期である高10回の四倉支部会長に指示をいただきながら岩沼支部を運営しています。コロナ禍においても令和三年度の支部総会を果敢に開催したことが呼び水となったのか仙台二高同窓会報への寄稿を依頼され、医師である芳賀支部長（高18回）はワクチン接種等で多忙であるため小生が引き受けることになりました。

岩沼支部の会員は、一九七七年から二〇〇九年までの仙台学区南北分割の影響で、この間の学区外岩沼から新たな二高生が不在となりました。その後、東日本大震災の一年前に学区制が廃止され令和三年現在で会員六十八名となり、その約1/3が学区廃止後の若者達です。問題は、三十三年間にわたる同窓生構成員のブランクがあるた

め後継者への繋がりが無くなったことで、どの様に存続させていくべきか難しい状況です。

わが国の二十数年のデフレ不況にコロナ禍不況が加わり、経済復興は喫緊の課題となりました。日本の大学は予算的に先細りしていき世界からどんどん遅れ始めています。小生は東北大学金属材料研究所で強磁場を研究しておりまして、世界は放射能半減期が何千年以上もかかる核分裂の原子力発電から脱却を目指した核融合発電や、十万ガウス規模で脳機能解明



令和3年8月岩沼支部総会集合写真

を目指す医療用強磁場核磁気共鳴

など、そして素粒子検出器として宇宙のビッグバン解明を目指す強磁場加速器などの強磁場研究施設建設に巨額の予算を付けています。日本も今だからこそ積極財政に転換した経済政策をとるべきで、経済復興に直結する科学技術の革新化が必要です。このような状況を若者と語り合える機会をどこかで見つけたいと思います。岩沼支部同窓会総会の懇親会では内輪で話しております。

最後になりますが、令和三年度の岩沼支部同窓会総会に本部同窓会から谷口副会長に来賓としてお出でいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

「外に出るとは…」

武田 靖（高17回）

一昨年の同期の集まりに來られた大井龍司前会長との会話から

チューリッヒ支部を名乗ることにになりました。その際、前会長は、高校生たちに外に出ていくことを強く勧めているのにそのための施策を何もしないのでは実行性がなからとこのことを強調されていた。私は一九八一年に三十四歳でヨーロッパのスイスに移動しました。それ以前は、まさしく仙台子で、小学校、高校、大学、大学院とほぼ十五年以上を土橋の坂、

淀橋を使って通っていた身だったのですから、大幅な人生航路の変更だったのです。

それ以来ほぼ四十年間をヨーロッパで過ごしてきましたが、不思議なことに仙台二高の卒業生と出会うことはほとんどありませんでした。ただ次のことには気がついていました。ヨーロッパで出会う日本人で長期に居住しているひと、つまり移住者・移民者はほとんどが関西以西の出身者なのです。仙台どころか東北出身者はほとんど見かけません。恐らく海に囲まれているという空間的制限、季節性の厳冬という時間周期的環境といった閉鎖的境界条件下でずっと耐え忍ぶという特性がその人間性なのでしょう。しかし若者はそれに満足はしませんね。そういう状況をなんとか変えたいと思っていますことでしょう。

科学を論ずるさいにパラダイムという考え方があります。これはトーマス・クーンという科学論者が提案した考え方で、広範的知識の間になんらかの現象の周りのある範囲があり、その中でほとんどの理論構成が成立しているという見方です。この囲まれた空間のことをパラダイムと呼ぶのです。それ以後、科学だけでなく、一般社会の中にもあるまとまりのある知的構造体のことをパラダイムと



チューリッヒ工科大学メインキャンパス

呼ぶようになっていきます。大きな玉子形の空間を想像しても良いでしょう。そのパラダイムは、その内部の理論構成がきちんとして来ればくるほどその構造が強固になり、その殻を内部から壊すことが出来にくくなるのです。その意向や努力といったエネルギーは内部摩擦によって消費されるばかりで、その構造の改善・改革に費やされることはほとんどなくなりま

す。そうしてパラダイムの固定化が進み、あげくは硬直化し形骸化していき、瓦解してしまうまでの変化も起きなくなってしまう。このようなパラダイムの殻は外からしか壊せません。中にいた人

が一旦外にて、外からその硬直したパラダイムの殻を破壊するしか救う道はないのです。

仙台には江戸のころからその気概を持った人が何人も出ています。林子平、支倉常長、四国宇和島へ転居を命じられた伊達宗城などは藩の外に出ていって活動すること、地元だけでなく国全体への貢献を果たしました。

新会長の佐藤一郎君もドイツの研究、副会長の佐藤裕洋君も銀行家として各国を飛び回ったあとに仙台に戻ってきました。その経験が同窓会への貢献として生かされると信じています。小生も残り少ない人生を仙台で過ごすかと考えているこの頃です。

完

仙台二高 在京同窓会

練生川淳志（幹事長／高30回）

二〇二一年十二月十二日（日）、在京同窓会総会&懇親会がオンラインで開催されました。昨年の総会が残念ながらコロナで中止となりましたので、今年はスタイルを変えてでも何とか開催したいと、島田淳実行委員長（高33）をリーダーとする十名の若手を中心とした実行委員の皆さんが、一生懸命準備してくださいました。七月の学年幹事会で、完全オンラインで開催することが決定し、八月に総

会実行委員会が組織されました。全五回の実行委員会も全てオンラインで開催されましたので、慣れない中での打ち合わせも大変だったと思います。

事前準備として、11月には、仙台まで出張し、事前収録を行いました。ご来賓としてご挨拶をいただく、後藤順一前校長（高33）、佐藤一郎同窓会会長（高17）、そして現役の生徒会長の垣見洗生さん（高75）と皆様からメッセージをいただきました。

オンライン総会当日は、来賓含めて合計一〇一名が参加し盛大な会となりました。11・30から入室が可能となりましたので、入室なされた皆様には、待機時間中、母校の懐かしい写真や応援歌のBG

Mで楽しんでいただきました。

総会の司会はこのところ大活躍の三島めぐみさん（高69）です。総会に先立ち、会員物故者へ黙祷を捧げご冥福をお祈りしました。今年も十二名の会員のご家族から計報のご連絡をいただきました。

総会では、幹事長による事業報告と会計報告、そして齋藤博史さん（高32）による監査報告が行われ、全ての議事を承認後、役員を写真で紹介いたしました。

続いての懇親会では、

最初在京同窓会会長の上條努さ

ん（高24／サッポロホールディングス株式会社特別顧問）からご挨拶をいただき、そのまま乾杯にうつりました。

実行委員

乾杯後は、「仙台二高探検」と称して仙台から、太田直希さん（高69）が現地リポーターとして生配信です。青葉城の伊達政宗像からスタートし、懐かしい仙台的街並みが続々と放映されていきます。無事母校に到着後は、横山佳司先生（高33）の案内で構内を探検し



Zoom 参加者

ジをいただきました。そのあとは、十一のグループに分かれてのリモート懇親会となりました。オンラインでありますが、世代の近い仲間で大いに盛り上がったようです。

そして、会の終盤は恒例の、応援団OBによる校歌斉唱と応援歌、そしてエールを行いました。

中締めは、出席者中最年長の近藤正太郎さん（高3）です。元氣よく締めていただきました。そして名残惜しい中、青葉城恋歌のBGMにのせて、嵯峨秀夫さん（高30）がドローンで空撮した仙台市内及び母校の動画が流れてお開きとなりました。短い期間での準備は本当に大変だったと思います。実行委員の皆さん、ご協力いただきました皆様本当にありがとうございました。

なお、在京同窓会は、五月には新卒者歓迎会&若手交流会をリアルで開催予定です。首都圏に在住の学生を中心とした交流会となります。首都圏に在住で在京同窓会に未登録の方は、こちらのQRコードより登録ください。登録後事務局からご案内をさしあげます。



クラブ・回期報告等

歳にめげず

コロナ禍をチャンスに

和田 信彦（高17回）

17期生『学遊会』は「何時までも楽しく学び面白く遊ぶ」を趣旨に、同期生に限定した講師役の講演と、終了後の懇親会をセットしたもので、年三、四回開催して今まで計十三回開催してきました。かつて高度成長期に、東京新宿住友ビルで開催された、青山史郎大先輩が主宰した会に、二高同窓生が年代を越えて集まり、談論風発熱気溢れるあの会を参考にしました。

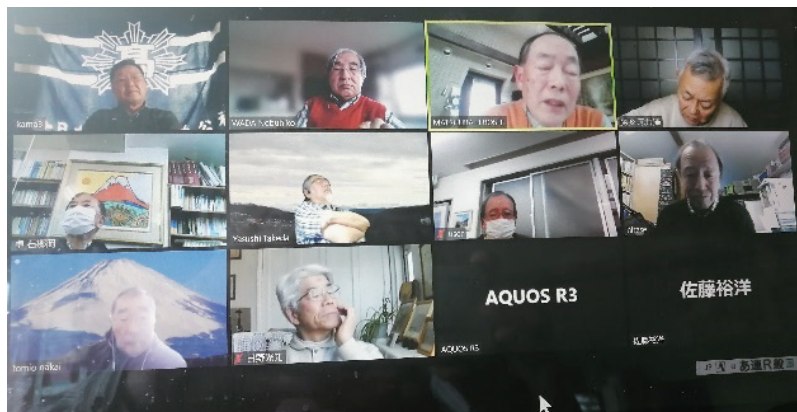
しかしながら、この二年間はコロナの影響もあり、やむを得ず開



対面会場（撮影：石郷岡）

催が不可能となり、次期開催の目処すら立っていません。それに加えて、我々同期の仲間も七十五歳を超えるようになり、一堂に集まってこの会を維持、継続して、運営していく事が困難になっていきます。そこで、理系の仲間数人から、リモートで、全国に散らばる同期生を結び付けて、コロナ禍でも、又、高齢化が進む課題を打開しようという気運が出てきました。

新年幹事会では再開が難しいのでリモート学遊会の実現性を早めてはとの意見があり、当初予定していた二月二十日（日）に対面参加六名とZoom参加八名によりリモート講演会のテストを開催しました。事前に依頼した会員には写真やマップ等を添えて十分程度の近況紹介をいただき、卒業後初めて会わせる顔や交わす声もあり賑わいました。時差と国境をこえて参加したスイスからの講演には「放送のようなタイムラグもなく、一万キロも離れていても隣にいるようなネットの威力」に感激、「こんなに離れた人達がパソコンの画面上に一堂に会して表情を観ながら



Zoom 参加者（撮影：和田）

話ができる」に感動の声があがりました。人の交流は基本的に対面ですが三年目に入るコロナ禍で大きく変えられた日常、収拾が見通せない中で人の交流は臨機応変に代えざるを得ません。三九学遊会の講演二題のうち一人は会場講演し一人はリモート講演とすれば、Remote 苦手と Distance 移動による不参加の相互障壁を越えることができそうです。同期生の連絡先の登録数は県内を主に県境も国境も越え約一〇〇名がリモートや

郵便で繋がっています。三九学遊会はこの資産を限りなく活かしかコロナ禍をチャンスにすべく、日常を回復しながら更に世界の輪が広がることを目指します。

第37回

応援団幹部OB OG 会

総会のご報告

仙台二高応援団幹部OB OG 会

幹事 櫻井 一弥（高43回）

令和四年五月十四日（土）、朝までの雨が嘘のように晴れ渡った楽天生命パーク宮城において、仙台二高一高硬式野球定期戦が開催されました。結果は惜しくも負けとなりましたが、ゲームそのものは大変盛り上がった内容で、我々OBも三年ぶりに観戦の機会を得、大いに楽しむことができました。

同日十七時より、青葉城本丸会館にて、こちらも三年ぶりとなる応援団幹部OB OG 会総会を開催することができました。参加者は十五名ほどとやや少なめでしたが、対面とオンラインによる初のハイブリッド開催とし、先輩諸氏との有意義な時間を過ごすことができました。新役員（下記参照）の紹介と承認、参加者の近況報告、応援歌と校歌の斉唱、という流れでしたが、

さすがは応援団幹部OB OG、応援歌も校歌も皆さん全く歌詞カードを見ることなく、しっかりと腹から声が出ていました。

目下の課題としては、名簿の整備と若い世代との連絡網の構築、ならびに現役世代・顧問の先生との情報交換といった点が挙げられます。今後新役員を中心に、現役世代を激励できるような活動を展開していきたいと考えています。

仙台二高応援団幹部OB OG 会

新役員

会長

千葉 和俊（高26回、団長）

副会長

赤堀 次郎（高38回、副団長）

幹事

櫻井 一弥（高43回、副団長）



寄 稿

『雲南紀行』

河合絹吉著

佐々木武夫（高4回）

本文『雲南紀行』その五

旧宮城県仙台第二中学校第五代校長

河 合 絹 吉 著

※○内の注記は、紹介者、
佐々木武夫による。

明治三十九年二月六日、晴天、
夕方摂氏十一度。昨夜晩酌に酔う
てうたたねし、夜中寒さに目を覚
ませば布団もなし。驚きて寝仕度
す。

〈句〉うたたねも世話の仕手（し
て）なき寒さかな

今日は二十四昌鼓天の道と称し
て山坂の上り下り二十四あると
か。昼頃花貢に着く。轎夫等此処
に泊まらんとて聞かず。李（通
訳）をして色々談判をせしめ、一
時間余にしてようやく出発す。轎
夫等愚図付きてろくろく動かず。
三、四里にして又休む。ステッキ
にて打ち付けたれども聞かず。こ
こに一策を案じて轎を降りて徒歩
す。轎夫喜びて従い来る。一里ば
かりにして又乗る。道の三、四里
も来たれる時、轎夫の一人、鎮遠
より来たれるニューという者、一
言もなく轎を下ろし、余（私）の
犬の毛皮の半天を取りて逃げ去
る。逃ぐると見ては何じょう許す
べき。仕込み杖を採りて轎を飛び

出て後を追う。すでに二丁（約
二百二十メートル）ばかり落ち延
びたり。親兵に命じて後より追わ
しめ、余は抜け道して彼の前に出
でんとす。轎夫逃るべからざるを
見て、左の山中に逃げ込む。すか
さず日本刀を抜き放ちて追いつが
る。道極まりて逃ぐる能わず。余
は夕日に輝く日本刀を打ち振りて
迫る。轎夫は手を挙げてしきりに
謝す。始め轎夫の去りし時、余の
荷物の何物をか盗みしものと思
いし故、かく激しく追いたりしも今
見れば、犬の半天のほか何物をも
持ち居らず。余りに手痛くせしを
やや後悔せしも抜きし日本刀の手
前そのままには鞘に納め難く、い
ささか困却の体（てい）なりしが、
その時、李が後より来たりて余を
なだむ。これを幸いの機会に轎夫
を許す。路夫頭来たりて轎夫を叱
り且つなだむ。李の轎夫一人来た
りて余の轎を担う。数町にして轎
の縄切れて又轎より落とさる。日
は西山に傾きて夕暮近し。度々の
落轎の災難に遭い、やむなく日本
刀を杖つきて歩く。小川を越ゆれ
ば老鷲崖なり。これより数千尺も
あるべき高山を越ゆるなり。今日
はいよいよ日変わるべしと見たれ
ば、ピストルを取り出して腰につ
け猛獣にもあれ把子（山賊強盗）
にもあれ来たらば一撃にせんもの
と用意す。李の轎は遅れて二里余
り後にあり。老鷲崖を越ゆる道
は、げに羊腸九折にして流汗淋漓

たり。中略。雲は低く山の頂を手
にて掴むべし。東天には月明らか
に冴ゆ。阿倍仲麻呂に倣い作れる
歌。

〈歌〉天の原ふりさけ見れば鎌
倉の名越の山に出でし月かも

谷川の音、山に響きて物凄し。
高き所より望めば千山万岳の脈々
画に見るが如し。国出でて既に百
日、未だ雲南の境上にも入らざる
なり。ただ利益の為に行くにあら
ず。故国の国威発揚の為に行くな
り。国のため、君の為とは言いな
がら誠に遠き道なるかな。

〈歌〉都をば天長節に出でしか
ど紀元節にも着けぬ雲南 以下略。

（注1、天長節は明治天皇誕生日
の11月3日、紀元節は神武
天皇即位日の2月11日。）

（注2、宮崎市定著、中央文庫本科
挙によると科挙の試験の中
の一つ郷試が行われる際の
試験官の各省派遣で、一番
遠い雲南省、貴州省へは北
京から約90日かかるので余
裕をもたせた派遣をしたと
ある。同書71頁。）

駐夫（ちゅうおつと）
として過ごした
米国での三年間

小西 一禎（高43回）

駐在員夫Ⅱ駐夫と聞いて、ピ
ンと来る人は少ないだろう。海外

駐在員の妻Ⅱ駐妻は知られている
が、要はジェンダーを入れ替えた
だけのこと。共稼ぎ家庭が半数を
超え、女性の社会進出が広がる中、
海外に夫や子どもを連れて赴任す
るケースは年々増えている。本校
OGにもいるのではなからうか。

大手メディアの政治記者とし
て、長時間労働を長年続けてきた
私に突如降りかかった妻の米国赴
任。四十五歳の働き盛りゆえ、悩
みに悩んだ。ただ、私にも幼子に
も必ずや良い経験になると思い、
会社の休職制度を使って家族四人
で二〇一七年末に渡米。ニューヨ
ーク・マンハッタンを流れるハ
ドソン川対岸、ニュージャージー
州で約三年暮らし、昨春帰国した。

日本の二十五倍の国土を誇り、
何から何までスケールが大きい米
国。世界中から移民が集い、多様
な価値観に溢れ、自由は限りなく
保障されるが、決まって責任が伴
う。公的・

民間サービ
スが平準化
されておら
ず、電車が
数分遅れ
るだけでイ
ラッとする
日本人には
ない「テキ
トー」があ
る反面、日
本の「なあ

なあ主義」は許されず、意思表示
や迅速な決断が常に迫られる。

マイノリティなアジア系の中
でも「日本人主夫」は二重の意味
で珍しく、自分が知らなくても、
相手が私のことを知っているのは
日常茶飯事。連日の食事作りと子
どもの学校、習い事へのクルマ送
迎が最大の使命だった。旅行で訪
れた州はアラスカなど二十ほど。
念願のキャンピングカー旅行も果
たした。

コロナ禍は最強国をも恐怖に陥
れ、マスク着用を義務付ける政策
転換で、一夜にして個人主義揃い
の米国人が従ったのには、我が目
を疑った。

そして、一万キロも離れたNY
に同窓会支部があり、五人もの北
陵健児が歓待してくださったこと
がどれだけの心の支えになったこと
か。且英夫支部長（高20）、白田
正樹（高20）、福永龍美（高22）、



夢原祥太郎（高38）、松下幸生（高40）の各先輩と「雨か嵐か」を唱和した日系カラオケ屋での記憶は今も深く刻まれている。

伝えていくべきこと

青葉倶楽部会長

岡崎 正行（高28回）

私たち「青葉倶楽部」は、時代は移っても「文武一道」のもと、かつての自分たちと同じ夢を追い続ける後輩を応援する「仙台二高硬式野球部OB会」です。

青葉倶楽部発足の正確な時期は記録にありませんが、戦後の食糧難や物資不足の真ただ中であつた昭和二十二年の甲子園出場に際しては、仙台の政財界が一丸となった後押しをいただいたと聞いております。そうした中で野球部の卒業生や同窓生を中心に二中高野球部のさらなる発展を願い後援会として発生したものが前身であらうかと思われまふ。

以来七十有余年にわたり現役野球部への金銭的援助や学校側への監督コーチの推薦、因縁浅からぬ一高OB会との「二高一高OB野球定期戦」を通じての交流等に努力してまいりました。現在では、関東一円を基盤とした「東京青葉倶楽部」と在仙の「青葉倶楽部」が協力し合い、年間総額六十万円前後の現役野球部への金銭的援助を継続して行っております。

こうした活動の中で培われてきた野球部OBの心得のようなものがあります。それは「二高一高野球定期戦とは、決して一運動部の対外試合ではなく、入学した新入生が一月間揉みに揉まれてたどり着く全校応援という大イベントであるということ、したがって野球部員は卒業後も学校や同窓生、同級生への感謝の気持ちを忘れてはならない」というものです。私自身いつ頃どなたに教えていただいたかは憶えておりませんが、私も周囲のOBたちに同様のことを言うようになりました。そうしたことが同窓会における野球部OBの参画増加に結び付いているとすれば幸いです。時代を経て社会環境や生徒の気質は変わっていくでしょうし、それに比べ同窓会やOB会の在り方も変わっていくと思います。しかし感謝すべきことに感謝する「心の在り方」は伝えていきたいと思っております。



理事会からのお知らせ

北陵祭

母校の文化祭「第73回北陵祭」は、二高生のみで八月二十七日（金）・二十八日（土）に予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症により中止されました。同窓生の皆様、北陵祭は母校を訪れる大変良い機会と考えますので、是非、コロナ禍が収束し、通常通り北陵祭が開催されることを切に願ひ、今年の北陵祭には、より多くの同窓生の参観を心よりお待ちしております。

評議員推薦のお願い

評議員会は同窓会の最終議決機関として、極めて重要な役割を果たしており、評議員各位のご尽力は同窓会活動上欠かせないものです。残念ながら、評議員不在の回期が複数存在することから、理事会として評議員会名簿上欠員となっている、とりわけ次の10回期（高38、42、43、45、46、51、52、55、56、57）の会員の皆様におかれましては、是非とも評議員の推薦をお願い申し上げます。

また、平成二十五年度の総会において、各回期の評議員が二名制

になりました。まだ二名選出されていない回期の方は、同期で打ち合わせしていただき、お早めに選出していただきますようお願い申し上げます。

なお、評議員の選出については、同窓会会則第八条五項に「評議員は常任委員の互選により選出」とありますが、現実的な対応として、「同回期生複数の推薦により選出」とさせていただきます。

理事並びに同窓生から評議員への推薦依頼がありました場合には、是非就任に前向きにご検討いただきますようお願いいたします。

文責 谷口 秀樹（高27回）



2022年度 同窓会総会のご案内

1. 日 時：2022年 7 月 2 日（土） 総 会：15時～16時（受付開始は14時30分）
講 演：16時～17時（予定）

※総会・講演はライブ配信いたします。下記のアドレスに入ってください。

<https://www.operation.shinobuba.com/0702sendainikou>

※懇親会はございません

2. 場 所：江陽グランドホテル＜地下鉄南北線広瀬通駅下車 西 1 番出口徒歩 0 分＞

3. 会 費：ございません

4. 関連企画

☆母校内ツアー（中止）

☆特別講演

演題：『スパイスカレーの魅力！

自分流のスパイスカレーを作ってみよう！』

講師：スパイス料理研究家 印度カレー子氏（高67回）

<講師プロフィール>

スパイス初心者のためのオリジナルスパイスセットを開発。レシピ本執筆多数。テレビ・ラジオでも活躍中。障がい者と協働でカレースパイスセットを作り商品化するなど障がい者の自立を支援している。

<講演内容>

スパイスカレーの魅力について、エピソードを交えて楽しくお話していただきます。事前に印度カレー子さんのスパイスカレーを食べた感想や作り方への質問があれば、メールでお寄せいただいても構いません。講演時にカレー子さんに答えていただこうと考えております。

（メールアドレス：info@sendainiko-dousoukai.com）

※印度カレー子さん スパイスカレーセット情報（右記QRコードよりご参照ください）



4. 申込締切：6月20日（月）

★出席申込は、下記の申込先へ電話、FAXまたはEメールをお願いします。

5. 申込先：〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1

仙台二高同窓会事務局（月・水・金 10：00～15：00）

T E L 022-221-5651

F A X 022-221-5686

Eメール info@sendainiko-dousoukai.com

6. 当番回期：高33・34・45・46・57・58回

上記回期の方々は、評議員・常任委員を中心に
ご協力をお願いいたします。

☆PTA・同窓会 合同新年懇親会のご案内☆

2023年 1 月 27 日（金）18時

会場は例年通り、
江陽グランドホテルで調整中です。

当番回期：高 34・35・46・47・58・59 回

支部・OB 会連絡先

● 支 部

団体名称	代表者	事務局(連絡員)	事務局連絡先
N・Y支部	旦 英夫 (高20)	旦 英夫 (高20)	8 Heritage Lane, Rye, New York 10580 USA, 914-921-0771
ローマ支部	武藤 順九 (高20)	武藤 順九 (高20)	Via del Caravaggio, 20 00047 Marino Roma, ITALIA
チューリッヒ支部	武田 靖 (高17)	武田 靖 (高17)	Y.Takeda Steigstrasse5 5233 Stilli Switzerland
北海道支部	若生幸一郎 (中43)	若生幸一郎 (中43)	〒064-0811 札幌市中央区南11条西15-3-26-405 011-561-8745
青森県支部	新山 龍治 (高22)	新山 龍治 (高22)	〒030-0845 青森市緑2-15-8 017-774-1009
岩手支部	吉江 信博 (高21)	橋浦礼二郎 (高23)	〒020-0103 盛岡市西松園1-9-3 019-662-7028
山形北陵会	仙道富士郎 (高 9)	栗野 学 (高26)	〒990-2461 山形市旅籠町 3 丁目 2-3 023-631-0001
福島北陵会	阿部 力哉 (高 3)	大場 時彦 (高31)	〒963-8041 福島県郡山市富田町字権現林オオバ工務店 024-961-6500
在京同窓会	上條 努 (高24)	練生川淳志 (高30)	〒152-0021 東京都千代田区神田淡路町 1 - 1 神田クレストビル 304(株)オール・エージェント内 03-3527-1955
東海北陵会	佐山 泰弘 (高10)	岩田 繁	〒467-0024 愛知県名古屋市中瑞穂区春山町15-4 101 090-8868-2372
関西北陵会	鈴木 武 (高20)	田中 聡 (高30)	〒573-0151 大阪府枚方市藤阪北町21-1-212 072-857-7651
広島支部(休会中)			
四国北陵会	渡邊 安男 (高17)	渡邊 安男 (高17)	〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼370-4 087-845-3295
九州北陵会	菅原 俊秀 (高10)	黒田 均 (高36)	〒803-0826 福岡県北九州市小倉北区高峰町5-7
気仙沼支部(休会中)	調整中	調整中	
石巻・桃生・牡鹿支部	菅原 憲 (高 8)	後藤 宗徳 (高29)	〒986-0827 石巻市千石町2-10石巻グランドホテル気付
加美支部	有馬 恒彦 (高18)	大山 匡 (高23)	〒981-4254 加美郡加美町字北町2-181-1 0229-63-3054
塩釜北陵会	大平 眞悦 (高18)	庄子 文康 (高25)	〒985-0005 塩釜市杉の入3-11-1 022-365-6435
黒川支部北陵会(休会中)	大友 正隆 (高16)	大友 正隆 (高16)	〒981-3515 黒川郡大郷町羽生字原畑27-2 022-359-3222
岩沼支部	四倉 政美 (高10) 芳賀 盛 (高18)	渡辺 和雄 (高21)	〒989-2461 岩沼市長岡字上根崎2-3 0223-24-1614
亶理会	手戸 雅己 (高15)	手戸 雅己 (高15)	〒989-2351 亶理郡亶理町字五日町 60-1 0223-34-1750
角田支部	未定	湯村 周一 (高22)	〒981-1505 角田市角田字町65 0224-63-1331
登米・栗原・南三陸支部	日野 宏 (高24)	佐藤 豪 (高21)	〒989-5612 栗原市志波姫新熊谷255-1三和電設(株)内 0228-24-7203

● 職 域

団体名称	代表者	事務局	事務局連絡先
仙台市役所北陵会	石川 浩史 (高32)	砂子田 順 (高58)	〒980-8671 青葉区国分町3-7-1 080-6002-9329
宮城県庁仙台二高養賢会	正木 毅 (高29)	佐藤 仁 (高45)	〒980-8570 青葉区本町3-8-1宮城県総務部人事課 022-211-2226
仙教委北陵会	郡山 孝幸 (高25)	東海林恵吾 (高28)	〒982-0014 太白区大野田六反田10-5大野田小学校 022-247-6654
藤崎北陵会	松原 大介 (高27)		022-261-5111
宮内二高会	太郎丸 浩 (高17)	角田 哲 (高26)	〒982-0252 仙台市太白区茂庭台4-23-5 022-281-4182
北陵ドクター倶楽部	山崎 匡 (高12)	鵜飼 克明 (高28)	〒982-0802 仙台市太白区八木山東2-3-7 hokuryo.dr@gmail.com

●クラブ

団体名称		代表者	事務局	事務局連絡先	
青葉倶楽部	硬式野球部	岡崎 正之 (高28)	谷田部達博 (高41)	〒981-3211 仙台市泉区長命ヶ丘 東5-4	022-778-3977
仙台二高 軟式野球部OB会	軟式野球部	菊地 房雄 (高18)	福田 瑞久 (高22)	〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-3-1江陽グランドホテル内(福田)	022-267-5111
仙台二高 ハンドボール部 北陵会	ハンドボール部	菅間 進 (高21)	中鉢 貴省 (高48)	〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-12-12GMビルディング9 F	022-796-9411
仙台二高 バスケットボール部 北陵会	バスケットボール部	西嶋 康雄 (高21)	佐久間正光 (高21)	〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘 2-12-14	022-275-9087
仙台二高 バスケットボール部 東京北陵会	バスケットボール部	太田 一彦 (高23)			
仙台二高 サッカー部OB会	サッカー部	庄司 正春 (高21)	丸森亮太郎 (高50)	〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町 2-5	022-223-1221
仙台二高 ラグビー部OB会	ラグビー部	本吉 和康 (高11)	桂島 猛 (高34)	〒981-3332 富谷町明石台5-41-1	022-776-1364
北陵騎士の会	フェンシング	高木 一弘 (高22)	秋保 茂樹 (高32)	〒021-0866 岩手県一関市南新町 55	0191-32-5105
	ヨット部	未定	奥野 誠也 (高22)	〒981-1304 志田郡松山町千石本 丸49桃源院	090-6149-0002
仙台二高 スキー部北陵会	スキー部	前田 弘毅 (高28)	斎藤 雅人 (高34)	〒981-0953 仙台市青葉区西勝山 7-2	022-719-3282
仙台二高陸友会	陸上競技部	宮崎 幹男 (高12)			022-287-3901
仙台二高北陵柔道会	柔道部	鈴木 亮一 (高23)	宇根岡 篤 (高46)	〒981-3332 富谷市明石台5丁目 36-11	022-218-2875
仙台二高 剣道部OB会	剣道部	菅野 敦 (高41)	手嶋 泰伸 (高54)	〒989-8007 仙台市泉区虹の丘 2-4-13	090-4550-8041
仙台二高 弓道部OB会	弓道部		山口 哲男 (高20)	〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-15-40	022-223-1618
仙台二高OB山の会	山岳部	三浦 康宏 (高31)	三浦 康宏 (高31)	〒981-3362 富谷町日吉台1-3-2	022-358-9452
仙台二高 バドミントン部OB会	バドミントン部	未定	穴戸 義一 (高22)	〒981-0952 仙台市青葉区中山 7-14-8	022-278-4448
仙台二高 卓球部北陵会	卓球部	鈴木 登 (高17)	鈴木 登 (高17)	〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ 谷東3-14-19	022-252-4216
バレーボール部 北陵会	バレーボール部	佐野 崇 (高4)	阿部広太郎 (高40)	〒982-0011 仙台市太白区長町 3-4-16-1001	022-308-3551
宮城県 仙台第二高等学校 合気道部同窓会	合気道部	岡崎 信 (高20)	吉田 信彌 (高22) 進藤 遼 (高60)	〒980-8631 仙台市青葉区川内 瀬橋通1番地宮城県仙台第二高等 学校合気道部顧問担当教諭気付	022-221-5626 (仙台二高) 0224-25-0024
仙台二高 空手部OB会	空手部		渡辺 秀樹 (高56)		
仙台二高 応援団幹部OB会	応援団	千葉 和俊 (高26)	千葉 和俊 (高26)	〒984-0816 仙台市若林区河原町 1-5-15-2100	022-711-0481
二吹会	吹奏楽部 (ブラスバンド部)	松永 雄治 (高12)	但木 均 (高22)	〒981-0912 仙台市青葉区堤町 1-1-1-1201	090-4044-1234
	演劇部	西條 昭将 (高15)	西條 昭将 (高15)	〒191-0053 東京都日野市豊田 2-3-12	042-583-4997
	写真部	伊勢 隆一 (高19)	伊勢 隆一 (高19)	〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3-9-7-2703	022-222-1720
	体操部	鈴木 孝 (高24)	鈴木 孝 (高24)	〒985-0072 塩釜市小松崎9-27	090-9637-8652

※他の運動部、文化部の情報をお寄せください。

※代表者及び事務局が変更になった際は同窓会事務局にご連絡をお願いします。

【連絡先】 仙台二高同窓会事務局
担当 佐々木恵理
月・水・金 10:00～15:00

〒980-8631 仙台市青葉区川内瀬橋通1
TEL/022-221-5651 FAX022-221-5686
Eメール/info@sendainiko-dousoukai.com
同窓会ML/nikodousoukai@googlegroups.com(詳しくはp32)

2022年度 年間行事予定

<同窓会公式行事>

日 時	行 事	会 場
4 / 8 (金)	入学式	二高講堂
4 / 26 (火)	大運動会 (活動助成)	二高校庭
5 / 14 (土)	硬式野球定期戦	楽天生命パーク宮城
5 / 15 (日)	対一高同窓会ゴルフ対抗戦	富谷カントリークラブ
5 / 28 (土) 14:00～	定例評議会	江陽グランドホテル
6 / 1 (水)	同窓会報第55号発刊	
6 / 15 (水)	当番回期打ち合わせ会 (高33・34・45・46・57・58回)	二高会議室
7 / 2 (土) 13:00～	校内ツアー (中止)	
7 / 2 (土) 15:00～	同窓会総会・講演会 (懇親会なし)	江陽グランドホテル
9 / 3 (土) ・ 9 / 4 (日)	北陵祭 (同窓会ブース開設予定)	二高
12 / 1 (木)	ニュースレター第8号発刊	
12 / 21 (水) 18:00～	当番回期・PTA合同打合せ会 (高34・35・46・47・58・59回)	二高会議室
1 / 27 (金)	PTA同窓会新年合同懇親会 (クラブ活動後援会への寄付)	江陽グランドホテル
2 / 28 (火)	同窓会入会式	二高講堂
3 / 1 (水)	75回卒業式	二高講堂

※COVID-19の感染状況により中止になったり、今後中止になる行事もあります。ご確認は同窓会事務局までお願い致します。

<理事会> ※原則として第3水曜日に開催 (12回)

4/27 5/11 6/15 7/20 8/17 9/21 10/19 11/16 12/21 1/18 2/15 3/15

<支部会/OB会/同期会>

※開催情報はありません。

※開催決まればHPに掲載いたしますので事務局までお知らせください。

評議員名簿

回期	氏 名	回期	氏 名	回期	氏 名	回期	氏 名
中44	石井 敏夫	高18	梅津 珪三	高36	柳 雅裕	高60	柴又 賢史
中45	欠員		前野 文男		首藤 雅浩	高61	泉 聖也
中46	欠員	高19	佐藤 芳博	高37	天江新太郎	高62	添田 敏寛
中47	佐々木一弘		遠藤 謙治		木村 光博	高63	佐久間俊平
高 1	坂田 正雄	高20	半田 賢	高38	飯川 斉		佐藤 葵
高 2	吉田 敏		中島 俊和	高39	日下 開	高64	深松 葉
	高橋 正道	高21	内藤 清秀	高40	内田 靖		徳永 航平
高 3	安達 剛		吉田憲三郎		酒井 紀章	高65	佐渡 恵奈
高 4	欠員	高22	菊田 健三	高41	菅沼 恵一		佐藤 泰史
高 5	菅原 正人		熊谷 晴樹		米地 真	高66	坂元 宏司
	高橋 清人	高23	大友 史祥	高42	藤原 伯晋	高67	鈴木 麻優
高 6	土岐 満夫		山口 信也		小幡 秀樹		齋藤 樹
高 7	鈴木 文夫	高24	沼倉 和彦	高43	渡邊 勝宏	高68	舟生佳奈子
高 8	藤野 尚之		斎 基之		櫻井 一弥		大山 遼
	奥山 隆生	高25	原 敏紀	高44	田所 直希	高69	生田目啓也
高 9	後藤 潮		木村 清		渡邊 英俊		尾形 眞美
	相澤美智雄	高26	角田 哲	高45	花本耕之助(住所不明)	高70	菊地 雅子
高 10	石田 武彦		高橋 芳郎	高46	小野 光利(住所不明)	高71	加藤 広大
	四倉 政美	高27	千葉 宏	高47	八谷 豊		阿部 柚佳
高11	佐野 伸義		岡崎 正行	高48	武田 力也	高72	小野寺 俊
	高石 祥二	高28	鶴飼 克明		中村 正帆		須田 朱音
高12	笹氣 光祚		稲辺 和彦	高49	落合 和希	高73	岡本 和大
	米竹 隆	高29	永見 幸久	高50	橘 大介		秋山 愛佳
高13	高橋 和男		渡邊 善夫	高51	平山 雅史(住所不明)	高74	福田みちる
	菅野 昭雄	高30	太田 康裕	高52	欠員		宮崎 ローレンス
高14	磐井 裕	高31	竹田 幸司	高53	栗原 慶太		
	笹氣光寿郎		伊達 久	高54	三嶋 廣人		
高15	近藤 尚武	高32	松谷 秀則	高55	千葉 祐介(住所不明)		
	坂本 正憲		結城 道広	高56	金森信之介		
高16	堀内 登	高33	千葉 敏彦		杉内 洋亮		
	高橋 賢	高34	大泉 義典	高57	京極 自源(住所不明)		
高17	鎌田 喜光		今野 明典	高58	相場 峻		
		高35	菊地 徹	高59	蔡 優広		

◆評議員が2名制になっています

平成25年度の総会後から、各回期の評議員が2名となりました。まだ選出されていない回期の方は、お早めに選出していただき、事務局までご一報下さい。また、評議員の方が住所不明で連絡がとれないため、欠員となっている回期があります。

評議員会
報告令和四年度第一回評議員会
令和四年五月二十八日（土）
十四時）

◇会長挨拶 佐藤一郎会長

◇議長選出 永見幸久氏（高29回）

◇審議

第一号議案

二〇二一年度事業報告（承認）

第二号議案

二〇二一年度収支決算報告・

監査報告（承認）

第三号議案

二〇二一年度事業計画案（承認）

第四号議案

二〇二一年度収支予算案（承認）

第五号議案 役員改選（承認）

◇連絡・報告

・評議員の活性化

◇閉会挨拶 佐藤裕洋副会長

理事会等
記録

二〇二一年五月十二日（水）

- ・定例評議員会議案／資料整理
- ・次期会長候補者の評議委員会出席の可否について
- ・同窓会報第54号編集作業の確認
- ・定例総会の開催について
- ・専門委員選出について（メール・ングリスト管理）
- ・四国支部会設立について
- ・会長引継ぎ事項の確認について
- ・今後の学校行事の件

・会計監事の退任／新任（定例評議員会の追加議案）

二〇二一年六月十六日（水）

- ・定例評議員会総括
- ・定例総会議案／資料整理
- ・仙台二高奨学会理事長推薦
- ・計報誤記防止について
- ・定例総会案内状送付について
- ・北陵祭への同窓会ブース参加（中止）について

二〇二一年七月二十一日（水）

- ・副会長の選出について
- ・理事の会務分担について
- ・名誉会長の選出・任期について
- ・定例総会総括
- ・評議員の選出について
- ・岩沼支部総会の出席について
- ・今後の喫緊の課題について（メール・ングリスト管理、校内活動助成費等）

二〇二一年八月十八日（水）

- ・北陵館の修繕等について
- ・同窓会報及びニュースレターの印刷業者の決定
- ・同窓会報に挿入する寄付金用紙の記載項目の追加
- ・ニュースレターの企画
- ・評議員の選出について
- ・理事会メール転送の対応について

- ・校内活動助成費の執行状況
- ・同窓会費及び寄付金の納付状況
- ・岩沼支部総会報告
- ・向山高校同窓会との意見交換等について
- ・東北大学資料館からの12周年記念誌及び同窓会報の希望依頼について

ついて

・若手理事会合の開催について

二〇二一年九月十五日（水）

- ・ニュースレターの印刷業者の決定
- ・ニュースレターの記載記事分担等
- ・理事会メール転送の対応について
- ・武蔵藤原九氏個展へのお祝い
- ・PT同窓の開催について
- ・応援団作成の扇子の購入協力について

二〇二一年十月二十日（水）

- ・ニュースレターの編集作業の確認
- ・武蔵藤原九氏個展へのお祝い
- ・PT同窓の開催について
- ・学校の近況について
- ・北陵館管理規程・使用規則の確認について

二〇二一年十一月十七日（水）

- ・ニュースレターの編集作業の確認
- ・内田元校長の追悼記の同窓会報掲載について
- ・各支部総会開催の状況について
- ・在京支部の他高同窓会との新年合同交換会の実施の報告
- ・同窓会会則への事務所所在地の記載追加について
- ・学校の近況について

二〇二一年十二月十五日（水）

- ・同窓会会則への事務所所在地の記載追加について
- ・学校の近況について
- ・同窓会入会式の件について

・ゆうちょ銀行口座の氏名変更について

二〇二二年一月十九日（水）

- ・北陵館管理規程・使用規則の改正の進捗
- ・護国神社の愛知揆一氏の銅像移転先について
- ・学校の近況について
- ・ニュースレター8号発刊結果報告
- ・同窓会費の納入状況
- ・同窓会ホームページの更新について

二〇二二年二月十六日（水）

- ・同窓会会則の課題と対応
- ・第二十回二高・三高合同演奏会の開催について
- ・同窓会入会式、卒業式の同窓会関連事項の総括について
- ・役員推薦について
- ・評議員の委嘱について
- ・事務局員の時給単価の変更に伴う労働契約書の更新について
- ・定期船祝勝会の開催・会場について
- ・令和四年度学校・同窓会行事日程の件
- ・学校の近況について

二〇二二年四月二十七日（水）

- ・同窓会報編集の進捗について
- ・同窓会報と同封する同窓会費納入依頼書・寄付依頼書等について
- ・評議員会の議題の整理等について
- ・評議員の委嘱及びその進捗について
- ・高三回生からの寄付金の取り扱いについて
- ・会費納入減対策について
- ・入学式の総括
- ・令和四年度学校・同窓会行事日程の件
- ・学校の近況について

二〇二二年五月二十七日（水）

- ・次期役員推薦の進捗について
- ・第55号同窓会報について
- ・令和四年度評議員会・総会の開催方法等について
- ・評議員の選任について
- ・卒業式の件
- ・令和四年度行事の件
- ・学校の近況について
- ・河北新報の取材（仙台二高共学化の取材）について
- ・二〇二二年三月十六日（水）
- ・同窓会入会式、卒業式の同窓会関連事項の総括について
- ・役員推薦について
- ・評議員の委嘱について
- ・事務局員の時給単価の変更に伴う労働契約書の更新について
- ・定期船祝勝会の開催・会場について
- ・令和四年度学校・同窓会行事日程の件
- ・学校の近況について

一般会計 2021年度収支決算報告

(2021年 4 月 1 日～2022年 3 月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	予算額 (A)	実績額 (B)	(B) - (A)	次年度予算額
収 入 (イ) (イ÷ロ)	前 年 度 繰 越 金	17,338,517	17,338,517	0	20,584,640
	年 会 費	9,500,000	8,862,000	△ 638,000	9,500,000
	(納 入 者 数)	(3,167 人)	(2,954 人)	(△ 213 人)	(3167 人)
	年 会 費 納 入 率				
	入 会 金	1,100,000	1,126,800	26,800	1,100,000
	(納 入 者 数)	(306 人)	(313 人)	(7 人)	(306 人)
	受 取 利 息	0	26	26	0
	寄 付 金	3,000,000	3,485,500	485,500	3,000,000
	名 簿 等 売 上 金	0	0	0	0
	そ の 他 収 入	0	9,100	9,100	0
収入合計 (C)		30,938,517	30,821,943	△ 116,574	34,184,640
支 出 (ロ)	同 窓 会 報 発 行 費 (発 送 通 数)	4,200,000 (14,500 通)	3,579,778 (14,272 通)	△ 620,222 (△ 228 通)	4,200,000 (14,500 通)
	ニュースレター発行費 (発 送 通 数)	1,900,000 (14,500 通)	1,923,484 (14,058 通)	23,484 (△ 442 通)	1,900,000 (14,500 通)
	校 内 活 動 助 成 費	1,350,000	1,170,000	△ 180,000	1,350,000
	卒 業 記 念 品	550,000	500,000	△ 50,000	550,000
	総 会 旅 費 補 助	150,000	52,820	△ 97,180	150,000
	総 会 補 填	300,000	416,600	116,600	650,000
	(出 席 者 数)	-	-	-	-
	P 同 懇 補 填	200,000	0	△ 200,000	200,000
	(出 席 者 数)	(130 人)	-	-	(130 人)
	支 部 総 会 等 旅 費	300,000	0	△ 300,000	300,000
	支 部 総 会 等 祝 儀	150,000	10,000	△ 140,000	150,000
	会 議 費	250,000	143,990	△ 106,010	250,000
	慶 弔 費	200,000	142,000	△ 58,000	200,000
	人 件 費	900,000	811,884	△ 88,116	900,000
	事 務 消 耗 品 費	120,000	58,633	△ 61,367	120,000
	切 手 葉 書 送 料	200,000	32,832	△ 167,168	200,000
	電 話 料	200,000	175,680	△ 24,320	200,000
	振 込 手 数 料	650,000	618,862	△ 31,138	650,000
	設 備 費	250,000	178,848	△ 71,152	450,000
	雑 費	60,000	40,205	△ 19,795	60,000
	同窓会活性化対策費	650,000	381,687	△ 268,313	650,000
	特 別 会 計 繰 入	3,562,155	0	△ 3,562,155	3,887,155
	予 備 費	14,796,362	0	△ 14,796,362	17,167,485
支出合計 (D)		30,938,517	10,237,303	△ 20,701,214	34,184,640
繰 越 金	(C) - (D)	0	20,584,640	20,584,640	0
残 高 (2022.3.31)	現 金 (事 務 局)		12,507		
	現 金 (事 務 所)		36,887		
	現 金 (会 計)		424,452		
	普 通 預 金 (七 十 七)		4,610,477		
	郵 便 振 込 (13168)		8,618,502		
	郵 便 振 込 (123386)		8,381,815		
	未 払 金		△ 1,500,000		
	差 引 合 計		20,584,640		

特別会計 2021年度収支決算報告

(2021年 4 月 1 日～2022年 3 月31日)

(単位：円)

区 分	項 目	実績額 (B)
収 入	前 年 度 繰 越 金	8,695,388
	預 金 利 息	74
	収 入 合 計 (E)	8,695,462
支 出	旗 幟 製 作 費	35,970
	振 込 手 数 料	550
	支 出 合 計 (F)	36,520
次年度繰越金	(E) - (F)	8,658,942
預金等残高 (2022.3.31)		
	普 通 預 金 (七 十 七 銀 行)	8,658,942
	差 引 合 計	8,658,942

会費納入

について

昨年度の会費納入額は約八八六万円と目標額九五〇万円に届きませんでした。また、前年度実績九一八万円を下回る結果となりました。目標額達成に向けまして引き続き協力をいただきますようお願い申し上げます。

同窓会は『会員相互の親睦を図る』と共に『母校の発展に寄与する』ことを目的として、『同窓会報・北陵ニュースレター』の発行、同窓会総会・PTA同窓会合同新年懇親会の開催、全国各支部との交流、北陵祭でのブースの開設、ホームページの充実などに取り組み同窓会の一層の活性化を図っております。また、入学祝い品・卒業記念品の贈呈、大運動会開催やクラブ活動に対する助成を行い、在校生が母校に誇りを持ち、文武一道を目指すことを支援します。

高3回からの

「寄付」

高3回卒は昭和二十年旧仙台二中入学、二十六年卒業まで中学・高校と学制改革により六年間川内の校舎で恩師の薫陶を得ました。卒業後恩師の命名を得て、創成会（仙台）、楨取会（教職者）、富老会（首都圏）と三つの会をつくり活躍してきました。七十歳を迎え元気だった友人達の計報が相次ぎ会の存続も難しく解散を決意しました。各回の会計残をまとめ同窓会の教養向上に役立てて頂きたく細やかながらご寄付させていただきます。金額三十二万五千元です。

（高橋 正道）

同窓会理事及び会務分担

部 門 及 び 会 務 内 容	氏 名（卒業回期）
名誉会長	大井 龍司（高 10 回）
会 長	佐藤 一郎（高 17 回）
副 会 長（会計及び北陵祭総括）	佐藤 裕洋（高 17 回）
副 会 長（会報統括）	千田 耕一（高 23 回）
副 会 長（総務統括）	谷口 秀樹（高 27 回）
理 事（活性化統括）	小野寺満明（高 23 回）
理 事（活性化担当・同窓会旗統括）	宮内 昭穂（高 25 回）
理 事（名簿管理統括）	加藤 幹夫（高 26 回）
理 事（広報統括・総務担当）	渡邊 博之（高 31 回）
理 事（会報及び活性化担当）	本田 英彦（高 40 回）
理 事（名簿及び同窓会旗担当）	斉藤 雅樹（高 44 回）
理 事（総務及び会報担当）	大張 慎悟（高 48 回）
理 事（広報及び活性化担当）	中鉢 貴省（高 48 回）
理 事（会報担当）	島田 耕平（高 53 回）
会計理事（出納及び決算担当）	菊池 祐輝（高 48 回）
会計監事	榊澤 慶悦（高 21 回）
会計監事	内藤 喜仁（高 44 回）
事務局長	横山 佳司（高 33 回）
事 務 局	佐々木恵理

2022 年 5 月吉日

宮城県仙台第二高等学校同窓会
会員の皆様

宮城県仙台第二高等学校同窓会
会 長 佐 藤 一 郎

2022 年度 同窓会費納入についてのお願い

会員の皆様におかれましては、平素より同窓会活動に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当会は『会員相互の親睦を図る』と共に『母校の発展に寄与する』ことを目的として、今年度も各種事業に取り組んでおります。

本活動の原資となるのが皆様から納入いただいている同窓会費です。

会員の皆様におかれましては、本活動の趣旨をご理解いただいたうえ、会費納入にご協力くださいますようお願い申し上げます。

会費納入に際しましては、ゆうちょ銀行ご利用の場合、同封の払込取扱票をご利用いただき、他銀行振り込みの場合は振込人名義に氏名及び会員番号（当用紙に記載）をご記入いただきますようお願いいたします。

〈七十七銀行 芭蕉の辻支店 普通預金 0097845

宮城県仙台第二高等学校同窓会 会長 佐藤一郎〉

必ずご記入
ください！

寄付納入のお願い

昨年度におきましても多くの会員の皆様からご寄付のご理解・ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

本年も同窓会の活性化と母校支援をさらに充実化させるため、同窓会活動にご賛同いただける会員の皆様には、謹んでご寄付の協力をいただきますようお願い申し上げます。

尚、同窓会報に寄付者一覧を同封いたします。氏名の掲載を希望されない方は、払込取扱票の通信欄にチェックを入れていただくか、その旨を事務局にご連絡ください。

2021年度 同窓会費納入状況

回期	会報 発送数	口数	入金額
中 40	4	1	3,000
41	10	1	3,000
42	9	0	0
43	13	2	6,000
44	19	3	9,000
45	26	3	9,000
46	31	4	12,000
47	31	14	42,000
高 1	42	7	21,000
2	63	25	75,000
3	91	37	111,000
4	106	50	150,000
5	107	42	126,000
6	126	54	162,000
7	106	44	132,000
8	146	42	126,000
9	150	44	132,000
10	178	65	195,000
11	174	73	219,000
12	189	66	198,000
13	186	53	159,000
14	189	83	249,000
15	181	76	228,000
16	193	79	237,000
17	197	77	231,000
18	211	95	285,000
19	169	72	216,000
20	171	63	189,000
21	221	94	282,000
22	253	102	306,000
23	183	66	198,000
24	167	61	183,000
25	195	79	237,000
26	214	65	195,000
27	194	47	141,000
28	192	66	198,000
29	164	33	99,000
30	172	50	150,000
31	167	39	117,000
32	175	54	162,000
33	187	40	120,000

回期	会報 発送数	口数	入金額
34	172	37	111,000
35	187	41	123,000
36	176	40	120,000
37	171	25	75,000
38	167	32	96,000
39	179	37	111,000
40	208	37	111,000
41	208	18	54,000
42	197	16	48,000
43	171	22	66,000
44	162	21	63,000
45	200	15	45,000
46	190	31	93,000
47	202	21	63,000
48	197	14	42,000
49	189	16	48,000
50	174	12	36,000
51	176	10	30,000
52	170	12	36,000
53	177	17	51,000
54	195	17	51,000
55	176	15	45,000
56	190	10	30,000
57	195	6	18,000
58	186	15	45,000
59	197	14	42,000
60	204	17	51,000
61	204	12	36,000
62	199	13	39,000
63	216	18	54,000
64	212	11	33,000
65	245	22	66,000
66	238	24	72,000
67	247	24	72,000
68	276	40	120,000
69	261	27	81,000
70	257	43	129,000
71	289	47	141,000
72	304	50	150,000
73	311	80	240,000

令和三年度

同窓会入会式

二月二十八日、午前十時より入会式は行われました。感染防止を行いながら、三年生は講堂に集合して、距離を保ちながら着席しました。佐藤一郎同窓会会長より、開式のご挨拶をいただき、続いて、卒業記念品が74回生の評議員の福田みちるさんに贈呈されました。

谷口秀樹同窓会副会長より、パワーポイントを使用して同窓会の活動について丁寧な説明をいただきました。その後、佐藤会長より、評議員と常任委員に委嘱状を手渡していただきました。評議員の宮崎ローレンスさんから、三年生を代表してこれからの同窓会員として積極的に活動に関わって行きたいという決意が述べられました。

令和三年度

第74回卒業式

三月一日、快晴の春空の下、74回卒業式が挙行されました。

昨年同様、感染防止の観点から、講堂には、卒業生、佐藤一郎会長をはじめとするご来賓、そして教職員のみが参列しました。保護者の方々には、別教室でライブ配信で式場の様子を映像で観ていただきました。

スーツ姿や晴れ着などに身を包んだ卒業生たちは、一人一人呼名

た。壇上では、74回生の旗(同期会の旗)が披露される中で、整列した評議員と常任委員に対して、大きな激励の拍手が送られました。



され、クラス代表に卒業証書が授与されました。後藤順一校長先生から、「卒業生の皆さんは、コロナ禍でも動じずに北陵健児らしくたくましく生きてきました。これからも敬愛切磋の精神を重んじながら、人生にチャレンジして欲しい。」という期待を込めた式辞が述べられました。佐藤一郎会長からは、「一人ひとりが真の自己探究を確実に実践し、多様性に満ちた大きなエネルギーを生み出すことで、21世紀は、皆さんを含む若人が、新たな日本創生の原動力と

令和四年度

入学式

四月八日、入学式は昨年同様に感染防止対策を行いながら実施しました。新入生と教職員だけが講堂で式を行い、保護者の方々にはリモートでの対応をお願いし、別教室にご参集いただき、ライブ配信で入学式の映像をご覧いただきました。

桜が今にも咲きそうな当日、開式の辞により式が始まり、CDによる国歌演奏、そして、各クラス担任により新入生の呼名が行われました。別教室では、保護者の方々がライブ配信で生徒一人一人の様子を確認されていました。

新校長、高橋賢校長の式辞には、「皆さんは、無限の可能性を持っています。どんな目的地にも

なることでしょう。」と祝辞をいただきました。式後に各教室で最後のホームルームが行われ、その後、卒業生は校庭に集合して、応援団のリードの下で、雨か嵐かを声高らかに歌っていました。



進むことができます。

二高での三年間は、普通列車に乗って各駅停車でも、毎日しっかりと充実した生活を送って下さい。その先に目指すべき目的地はあります。」という新入生に向けたメッセージがありました。新入生代表生徒の宣誓では、二高生としての誓いが力強く述べられました。

佐藤一郎同窓会会長による祝辞では、「二高での三年間で、仲間と共に、怠らずに学業やスポーツに真摯に取り組み、本来の真の自己探究に励み、成長して下さいます。」というメッセージをいただきました。



最後に、合唱部の校歌披露がCDを流して行われました。本年度の入学総数は三二一名(男子一七〇名女子一五一名)です。

文責 横山 佳司(高33回)

在籍生徒数 2022年4月1日 現在
普通科1学年8クラス(定員320名)

	男子	女子	計
1 学年	170	151	321
2 学年	170	152	322
3 学年	183	133	316
計	523	436	959

定期戦



○戦後77回野球定期戦

仙台二高・仙台一高野球定期戦が薄日のさす中五月十四日楽天生命パーク宮城で開催された。

三年ぶりに観客の声出し応援が解禁となり、

スタンドには両校の応援歌が響き渡った。二高は2点を先制したが一高の小刻みな反撃にあい6回に逆転された。それでも二

高は粘りを見せ9回4-4の同点に追いついたが延長11回力尽きた。高校野球らしい白熱した試合で両校OBを含め約三千人の観客を大いに沸かせた。通算成績は仙台二高の32勝34敗9分け(第72、75回は中止)となった。

硬式野球定期戦は、毎年五月の第二土曜日に開催されます。

○軟式野球定期戦

仙台二高対仙台一高の軟式野球定期戦は延長11回、2対4で仙台二高は準優勝でしたが、好プレーが随所に見られて熱い試合展開でした。難しいご時世の中で大会の開催の為に尽力された両校の先生方を始めとする関係各位に敬意を表し、両校の選手の健闘を讃えたいと思います。

○三部定期戦

五月二十一日に仙台二高を会場にして仙台二高・一高の三部定期戦が開催されました。

その結果をお伝えさせて頂きます。男子バスケット、53対81で準優勝女子バスケット、39対97で準優勝男子バレー、2対3で準優勝女子バレー、1対2で準優勝柔道、準優勝でした。

結果は残念ながら、北陵健児の



心意気を感じられる熱い試合展開のものが多かったです。

新型コロナウイルス感染防止対策の為に、入場制限がある中での開催でしたが、応援団幹部も来て雨か風かを熱唱して盛り上がりがありました。

各部の健闘を讃え、開催にあたりご尽力頂いた関係各位に感謝申し上げます。

また、三部定期戦とは別に仙台一高の体育館で開催されたハンドボール定期戦は、24対21で優勝しました。

六月の高校総体宮城大会での

健闘を祈りたいと思います。

文責 小野寺満明(高23回)



二高・一高同窓会

ゴルフ対抗戦

新型コロナウイルスの影響で懇親ゴルフコンペに変更した。懇親コンペには一高からも四名が参加し総勢三十六名で開催された。優勝は高48回生の徳永君であった。

来年こそは多くの人に参加してもらい盛大に開催したいものである。

文責 小野寺満明(高23回)

同窓生からの寄贈本の紹介

●『続 青葉の山 広瀬の流れ』

同窓会名誉会長 大井 龍司(高10回)

叙勲受章者

旭日大綬章
高橋 宏明殿(高11回)
旭日小綬章
木村 勝好殿(高22回)

過去3年間の大学入試合格状況

								() 内は現役内数			
大学	年度別 R4年3月 合格者数	R3年3月 合格者数	R2年3月 合格者数	大学	年度別 R4年3月 合格者数	R3年3月 合格者数	R2年3月 合格者数	大学	年度別 R4年3月 合格者数	R3年3月 合格者数	R2年3月 合格者数
国立大学	232 (155)	232 (149)	238 (141)	はこだて未来大	2 (2)		1	多摩大			1
公立大学	25 (17)	9 (7)	24 (16)	青森公立大			1	多摩美術大		5 (4)	
私立大学	414 (209)	391 (164)	436 (139)	岩手県立大			1	玉川大			1
大学校・専修・その他の学校	10 (5)	3 (3)	9 (6)	宮城大	5 (2)	2 (1)	5 (2)	中央大	36 (22)	49 (29)	50 (17)
総計	681 (386)	635 (323)	707 (302)	国際教養大	1 (1)	2 (2)	1 (1)	津田塾大	2 (2)	6 (5)	6 (2)
東北大学	旭川医大	1		会津大			1 (1)	帝京大			2
	北海道大	8 (5)	7 (5)	福島県医科大	5 (2)	3 (2)	4 (2)	東海大	3		4 (2)
	弘前大	4 (3)	5 (2)	高崎経済大	3 (3)		2 (2)	東京家政大	1 (1)		1 (1)
	岩手大	4 (3)	5 (4)	埼玉県立大	1 (1)			東京経済大		1 (1)	
	文	7 (7)	4 (3)	前橋工科大	1 (1)		1 (1)	東京工科大	1 (1)		
	法	5 (4)	6 (4)	東京都立大	3 (3)		2 (2)	東京慈恵会医大			1 (1)
	経済	14 (12)	6 (6)	横浜市立大	1 (1)			東京女子大	1		3 (2)
	教育	1 (1)	3 (1)	新潟県立大			1 (1)	東京女子医科大	1	2	1
	理	8 (5)	6 (2)	都留文科大		1 (1)		東京電機大			1 (1)
	工	31 (21)	31 (25)	長野大			2 (1)	東京都市大			1
国立大学	医	10 (7)	14 (12)	静岡県立大	1		1 (1)	東京農業大	3 (2)	4 (1)	5
	保	8 (8)	11 (6)	大阪市立大			1 (1)	東京薬科大		1	1 (1)
	歯	2 (2)	4 (2)	大阪府立大			1 (1)	東京理科大	47 (15)	41 (15)	40 (9)
	薬	6 (2)	5 (3)	大阪公立大学	2 (1)			東邦大	2 (1)	1	
	農	7 (4)	6 (5)	兵庫県立大学		1 (1)		東洋大	4 (3)	8 (3)	10 (3)
	東北大小計	99 (73)	96 (69)	公立大学合計	25 (17)	9 (7)	24 (16)	日本大	5 (3)	10 (2)	10 (2)
	宮城教育大	6 (4)	8 (4)	国公立大学合計	257 (172)	241 (156)	262 (157)	日本医科大			
	秋田大	6 (2)	4 (4)	北海道医療大	1 (1)			日本獣医生命大			
	山形大	25 (12)	27 (16)	酪農学園大	3 (1)	1 (1)		日本女子大	3 (1)	1 (1)	1
	福島大		2 (2)	岩手医科大	6	3 (1)	5	法政大	26 (12)	32 (12)	20 (2)
私立大学	茨城大	1 (1)	1 (1)	東北学院大	8 (7)	17 (10)	24 (7)	星薬大	1		
	筑波大	6 (6)	6 (5)	東北工業大	6 (5)	1 (1)	1 (1)	武蔵大	2 (2)	1 (1)	
	宇都宮大	1	1 (1)	東北福祉大	2	3 (1)	6 (4)	武蔵野大	1		
	群馬大	1		東北医科薬科大	24 (10)	25 (9)	37 (11)	武蔵野美術大		2 (2)	
	埼玉大	3	4 (2)	東北文化学園大		1		明治大	39 (25)	34 (8)	45 (20)
	千葉大	4 (4)	6 (3)	宮城学院女子大	1		1 (1)	明治学院大	2 (2)	5 (4)	3 (1)
	東京海洋大	1	1 (1)	東北芸術工科大			2 (2)	明治薬大	1		1 (1)
	お茶の水女子大	1 (1)	2 (2)	奥羽大	2 (1)		2	立教大	11 (4)	5 (2)	5 (1)
	電気通信大	1	2	国際医療福祉大	3 (1)	2	1	早稲田大	27 (21)	20 (13)	27 (14)
	文Ⅰ	3 (3)		自治医科大		2 (1)	2	東京医療学院大	1 (1)		
国立大学	文Ⅱ	2 (2)	2 (1)	獨協医科大	1		5	麻布大	1		
	文Ⅲ		1	明海大	1 (1)			デジハリ大		1 (1)	
	理Ⅰ	5 (4)	7 (6)	埼玉医大		1	1	神奈川大	2 (1)	1	
	理Ⅱ	2 (2)	3 (2)	日本工大			1	昭和音大	1		
	理Ⅲ			神田外語大	1 (1)	2		松本歯大	1 (1)		
	東京大小計	12 (11)	13 (9)	千葉工大	3 (1)	5	2	新潟医療福祉大			2
	東京医歯大	1 (1)		帝京平成大	2 (2)			金沢医大			1
	東京外語大	1 (1)	3 (2)	千葉商大			1	愛知学院大			1
	東京学芸大	1 (1)	2 (2)	青山学院大	6 (4)	12 (6)	8 (3)	豊田工大	2 (1)	1	1 (1)
	東京芸術大		1 (1)	大妻女子大		1		藤田医大			1
私立大学	東京工業大	3 (2)	3 (1)	学習院大	1 (1)		1	同志社大	8 (4)	7 (3)	7 (1)
	東京農工大	6 (4)	2	北里大	4 (1)	2	1 (1)	同志社女子大			2 (2)
	一橋大	5 (4)	1 (1)	共立女子大			2	立命館大	14 (6)	12 (6)	9
	横浜国立大	4 (3)	1 (1)	杏林大	1		1	龍谷大	2 (2)	1 (1)	
	新潟大	8 (6)	9 (4)	慶應義塾大	13 (8)	16 (6)	11 (7)	関西外語大	2 (1)	2	
	富山大		2	工学院大	2	1	10 (2)	関西大	3 (1)		2 (1)
	金沢大	1	2 (2)	國學院大		2 (2)	1	関西学院大	2 (1)	4 (1)	2 (2)
	山梨大			国際基督教大			1	近畿大	3	2	3 (3)
	信州大	1 (1)		駒澤大	5 (2)	4 (4)	4 (1)	久留米大		1	
	静岡大	1		実践女子大		1		産業医大			1 (1)
国立大学	名古屋大	1	1 (1)	芝浦工大	23 (1)	9	20 (2)	西南学院大			1
	滋賀医大		1	順天堂大	3 (1)	1	1	東京理科大学			1
	京都大	8 (3)	11 (2)	上智大	14 (14)	7 (3)	3 (1)	私立大学合計	414 (209)	391 (161)	436 (139)
	京都工芸繊維大	1 (1)		昭和大	3			防衛大学校		2 (1)	1
	大阪大	1	1	昭和女子大	1		2 (1)	防衛医科大	5 (2)		2
	神戸大	1		白百合女子大	2 (2)			航空保安大学校	1		
	九州大	2 (2)	2 (1)	成蹊大	6 (5)		4 (3)	気象大学校	1		
	長崎大	1 (1)	1 (1)	成城大	1	1 (1)		大学校合計	7 (2)	2	3
	大分大	1		聖心女子大	2 (2)			大学・短大・専門	3 (3)	2 (2)	6 (6)
	国立大学合計	232 (155)	232 (149)	大東文化大	2			その他合計	3 (3)	1 (1)	6 (6)
				専修大			1				

部活動の記録／運動部成績

部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）	部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）
陸 上 競 技 部	一般女子 4 × 100mR 第 6 位（金森美紀、小坪理桜、 墨谷友美、桑原由夢） 令和 3 年度宮城県高等学校新人陸上競技大会（9/9～9/12） 男子 400mH 第 3 位 香川幹央 女子 4 × 100mR 第 3 位（金森美紀、小坪理桜、 墨谷友美、白鳥名花） 女子 5000m 競歩 第 4 位 高橋歩未 ※以上、東北高等学校新人陸上競技大会（中止）出場権獲得 女子 800m 第 5 位 伊東奏音 女子 4 × 400mR 第 5 位（小坪理桜、伊東奏音、 加藤乃愛、桑原由夢） 男子 800m 第 6 位 福島結太 男子 4 × 400mR 第 6 位（福島結太、吉田和史、 赤木龍馬、香川幹央） 男子 1500m 第 7 位 日引英舜 女子 100m 第 7 位 金森美紀 女子 200m 第 7 位 白鳥名花 女子 400m 第 7 位 白鳥名花 令和 3 年度宮城県高等学校駅伝競走大会（10/17） 女子 第 7 位入賞 男子 第 12 位 第 36 回宮城県女子駅伝 第 8 位	硬 式 野 球 部	第 68 回春季東北地区高等学校野球宮城県大会（5/13～5/25） 1 回戦 仙台二 4 - 2 築館 2 回戦 仙台二 7 - 10 仙台（延長 10 回） 第 103 回全国高等学校野球選手権宮城大会（7/7～7/23） 1 回戦 仙台二 1 - 2 築館 令和 3 年度第 15 回秋季宮城県高等学校野球地区大会（8/21～9/2） 1 回戦 仙台二 6 - 1 泉 2 回戦 仙台二 0 - 10 東北（5 回コールド） 敗者復活 2 回戦 仙台二 5 - 6 仙台東
	第 70 回宮城県高等学校総合体育大会ハンドボール競技 （6/5～6/7） 1 回戦 仙台二 21 - 18 東北 2 回戦 仙台二 28 - 19 仙台一 3 回戦 仙台二 20 - 32 仙台南 ベスト 8 第 77 回（令和 4 年度）国民体育大会ハンドボール競技少年の 部宮城県第一次予選会（7/21～7/23） 二回戦 仙台二 13 - 20 仙台一 令和 3 年度 第 57 回仙台市民総合体育大会ハンドボール競技 （8/6～8/8） 予選 B リーグ 4 位 下位トーナメント 仙台二 6 - 10 仙台商業 令和 3 年度 宮城県高等学校ハンドボール競技新人大会 第 45 回全国高等学校選抜大会宮城県第 1 次予選（11/4～11/6） 1 回戦 仙台二 23 - 10 東北学院 2 回戦 仙台二 8 - 20 利府	軟 式 野 球 部	第 15 回春季東北地区高等学校軟式野球宮城大会 第 70 回宮城県高等学校軟式野球春季大会（5/28～6/6） 2 回戦 仙台二 4 - 5 東北学院 第 60 回全国高等学校軟式野球選手権宮城大会（7/2～7/2） 1 回戦 仙台二 2 - 4 仙台青陵 第 33 回秋季東北地区高等学校軟式野球宮城大会 第 62 回宮城県高等学校軟式野球秋季大会（10/7～10/12） 2 回戦 仙台二 5 - 4 尚絅学院 A ブロック代表決定戦 仙台二 0 - 4 仙台育英学園 令和 3 年度仙台一高・二高軟式野球定期戦（5/22） 仙台二 5 - 2 仙台一 で優勝
	令和 3 年度宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 仙塩地区予選会（5/10～5/12） 女子 予選リーグ戦 仙台二 99 - 26 仙台東 仙台二 86 - 55 仙山西 代表決定トーナメント 仙台二 55 - 56 仙台三桜 代表決定敗者トーナメント 仙台二 72 - 42 仙台育英 最終代表決定トーナメント 仙台二 64 - 49 松島 （県大会出場決定） 令和 3 年度宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 （6/4～6/6） 男子 1 回戦 仙台二 88 - 72 名取 2 回戦 仙台二 76 - 63 気仙沼 3 回戦 仙台二 71 - 54 白石工業 4 回戦 仙台二 66 - 124 東北（県ベスト 8） 女子 1 回戦 仙台二 49 - 56 石巻好文館 第 43 回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会一次大会 （8/19～8/20） 女子 1 回戦 仙台二 52 - 49 泉 2 回戦 仙台二 67 - 40 築館 3 回戦 仙台二 77 - 60 登米・岩ヶ崎 （G ブロック優勝：本大会出場） 第 43 回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会 （10/16～10/18） 男子 1 回戦 仙台二 71 - 54 尚絅学院 2 回戦 仙台二 63 - 105 利府（県ベスト 8） 女子 1 回戦 仙台二 13 - 105 尚絅学院 令和 3 年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会仙塩地 区予選（10/23～11/3） 男子 予選リーグ 仙台二 108 - 45 塩釜 仙台二 87 - 57 泉館山 （県大会出場決定） 順位決定トーナメント 仙台二 59 - 71 仙台一 女子 予選リーグ 仙台二 60 - 76 仙台三桜 仙台二 57 - 60 宮城第一 （予選敗退） 令和 3 年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会 （1/22～1/24） 男子 1 回戦 仙台二 63 - 43 高専名取	サ ッ カ ー 部	宮城県高校総体サッカー競技（5/25～5/29） 2 回戦 二高 13 - 0 登米 3 回戦 二高 0 - 0 富谷（PK 戦 8 - 9）ベスト 32 全国高校サッカー選手権大会宮城県予選 1 次予選（7/14～7/14） 二高 1 - 2 東陵（延長戦）負け 宮城県サッカーリーグ（7/17～） 二高 1 - 2 聖和学園Ⅲ 二高 11 - 0 仙台 二高 2 - 1 東北学院Ⅲ 二高 11 - 0 石巻 二高 10 - 0 佐沼 リーグ 2 位となり昇格戦へ進出 2 部リーグ昇格戦 二高 2 - 1 利府Ⅱ 二高 2 - 3 東北学院榴ヶ岡 二高 2 - 3 仙台育英Ⅳ 昇格ならず 宮城県高校新人大会サッカー競技（11/10～11/14） 2 回戦 二高 3 - 0 白石 3 回戦 二高 5 - 0 石巻工業 4 回戦 二高 0 - 1 城南 ベスト 16
ハ ン ド ボ ー ル 部	令和 3 年度宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 仙塩地区予選会（5/10～5/12） 女子 予選リーグ戦 仙台二 99 - 26 仙台東 仙台二 86 - 55 仙山西 代表決定トーナメント 仙台二 55 - 56 仙台三桜 代表決定敗者トーナメント 仙台二 72 - 42 仙台育英 最終代表決定トーナメント 仙台二 64 - 49 松島 （県大会出場決定） 令和 3 年度宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 （6/4～6/6） 男子 1 回戦 仙台二 88 - 72 名取 2 回戦 仙台二 76 - 63 気仙沼 3 回戦 仙台二 71 - 54 白石工業 4 回戦 仙台二 66 - 124 東北（県ベスト 8） 女子 1 回戦 仙台二 49 - 56 石巻好文館 第 43 回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会一次大会 （8/19～8/20） 女子 1 回戦 仙台二 52 - 49 泉 2 回戦 仙台二 67 - 40 築館 3 回戦 仙台二 77 - 60 登米・岩ヶ崎 （G ブロック優勝：本大会出場） 第 43 回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会 （10/16～10/18） 男子 1 回戦 仙台二 71 - 54 尚絅学院 2 回戦 仙台二 63 - 105 利府（県ベスト 8） 女子 1 回戦 仙台二 13 - 105 尚絅学院 令和 3 年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会仙塩地 区予選（10/23～11/3） 男子 予選リーグ 仙台二 108 - 45 塩釜 仙台二 87 - 57 泉館山 （県大会出場決定） 順位決定トーナメント 仙台二 59 - 71 仙台一 女子 予選リーグ 仙台二 60 - 76 仙台三桜 仙台二 57 - 60 宮城第一 （予選敗退） 令和 3 年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会 （1/22～1/24） 男子 1 回戦 仙台二 63 - 43 高専名取	ラ グ ビ ー 部	第 70 回宮城県高等学校総合体育大会ラグビーフットボール競技 （5/29～6/7） 15 人制 1 回戦 合同（仙台二・仙台東・仙台南・高専広瀬） 5 - 58 利府 7 人制 1 回戦 仙台二 17 - 17 合同（仙台東・仙台南） ※抽選により仙台二が 2 回戦進出 2 回戦 仙台二 10 - 24 仙台一 第 101 回全国高等学校ラグビーフットボール大会宮城県予選 （9/4～10/24） 1 回戦 合同（仙台二・仙台一・仙台南）7 - 52 白石工 第 74 回宮城県高等学校ラグビーフットボール新人大会 （10/31～1/22） 1 回戦 合同（仙台二・石巻・宮水）0 - 29 合同 （気向洋・古工）
	令和 3 年度宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 仙塩地区予選会（5/10～5/12） 女子 予選リーグ戦 仙台二 99 - 26 仙台東 仙台二 86 - 55 仙山西 代表決定トーナメント 仙台二 55 - 56 仙台三桜 代表決定敗者トーナメント 仙台二 72 - 42 仙台育英 最終代表決定トーナメント 仙台二 64 - 49 松島 （県大会出場決定） 令和 3 年度宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 （6/4～6/6） 男子 1 回戦 仙台二 88 - 72 名取 2 回戦 仙台二 76 - 63 気仙沼 3 回戦 仙台二 71 - 54 白石工業 4 回戦 仙台二 66 - 124 東北（県ベスト 8） 女子 1 回戦 仙台二 49 - 56 石巻好文館 第 43 回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会一次大会 （8/19～8/20） 女子 1 回戦 仙台二 52 - 49 泉 2 回戦 仙台二 67 - 40 築館 3 回戦 仙台二 77 - 60 登米・岩ヶ崎 （G ブロック優勝：本大会出場） 第 43 回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会 （10/16～10/18） 男子 1 回戦 仙台二 71 - 54 尚絅学院 2 回戦 仙台二 63 - 105 利府（県ベスト 8） 女子 1 回戦 仙台二 13 - 105 尚絅学院 令和 3 年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会仙塩地 区予選（10/23～11/3） 男子 予選リーグ 仙台二 108 - 45 塩釜 仙台二 87 - 57 泉館山 （県大会出場決定） 順位決定トーナメント 仙台二 59 - 71 仙台一 女子 予選リーグ 仙台二 60 - 76 仙台三桜 仙台二 57 - 60 宮城第一 （予選敗退） 令和 3 年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会 （1/22～1/24） 男子 1 回戦 仙台二 63 - 43 高専名取	陸 上 競 技 部	令和 3 年度宮城県高等学校陸上競技大会（5/28～5/31） 男子 400mH 第 3 位 酒谷泰生 女子 4 × 100mR 第 3 位（金森美紀、菊地志乃、 内田有咲、墨谷友美） 男子三段跳 第 5 位 堀越鉄平 女子 100m 第 6 位 菊地志乃 女子走幅跳 第 6 位 小野舞奈香 男子 4 × 100mR 第 6 位（山本博健、伊藤翔太郎、 赤木龍馬、錦戸謙親） 女子 200m 第 7 位 菊地志乃 女子三段跳 第 7 位 小野舞奈香 男子 4 × 400mR 第 8 位（鏡武蔵、錦戸謙親、 伊藤翔太郎、福島結太） 令和 3 年度東北高等学校陸上競技大会（6/19～6/22） 男子三段跳 第 14 位 堀越鉄平 女子走幅跳 第 29 位 小野舞奈香 男子 400mH 出場 酒谷泰生 女子 100m 出場 菊地志乃 男子 4 × 100mR 出場（山本博健、伊藤翔太郎、 赤木龍馬、錦戸謙親） 女子 4 × 100mR 出場（金森美紀、菊地志乃、 内田有咲、但本南咲） 宮城県陸上競技選手権大会（7/11～7/13） 一般女子 4 × 400mR 第 5 位（小坪理桜、伊東奏音、 安藤ななみ、桑原由夢） 少年共通男子 110mH 第 6 位 香川幹央
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	令和 3 年度宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 仙塩地区予選会（5/10～5/12） 女子 予選リーグ戦 仙台二 99 - 26 仙台東 仙台二 86 - 55 仙山西 代表決定トーナメント 仙台二 55 - 56 仙台三桜 代表決定敗者トーナメント 仙台二 72 - 42 仙台育英 最終代表決定トーナメント 仙台二 64 - 49 松島 （県大会出場決定） 令和 3 年度宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 （6/4～6/6） 男子 1 回戦 仙台二 88 - 72 名取 2 回戦 仙台二 76 - 63 気仙沼 3 回戦 仙台二 71 - 54 白石工業 4 回戦 仙台二 66 - 124 東北（県ベスト 8） 女子 1 回戦 仙台二 49 - 56 石巻好文館 第 43 回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会一次大会 （8/19～8/20） 女子 1 回戦 仙台二 52 - 49 泉 2 回戦 仙台二 67 - 40 築館 3 回戦 仙台二 77 - 60 登米・岩ヶ崎 （G ブロック優勝：本大会出場） 第 43 回宮城県高等学校バスケットボール選手権大会 （10/16～10/18） 男子 1 回戦 仙台二 71 - 54 尚絅学院 2 回戦 仙台二 63 - 105 利府（県ベスト 8） 女子 1 回戦 仙台二 13 - 105 尚絅学院 令和 3 年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会仙塩地 区予選（10/23～11/3） 男子 予選リーグ 仙台二 108 - 45 塩釜 仙台二 87 - 57 泉館山 （県大会出場決定） 順位決定トーナメント 仙台二 59 - 71 仙台一 女子 予選リーグ 仙台二 60 - 76 仙台三桜 仙台二 57 - 60 宮城第一 （予選敗退） 令和 3 年度宮城県高等学校新人バスケットボール大会 （1/22～1/24） 男子 1 回戦 仙台二 63 - 43 高専名取		

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
テ ニ ス 部	高校総体 女子団体 ベスト8 (対東陵1-2) 伊東怜菜 郡山七奈 福田みちる 齋藤若菜 宮城明日香 女子シングルス ベスト8 (順位決定戦8位) 伊東怜菜 女子ダブルス ベスト8 伊東怜菜・郡山七奈 ベスト32 齋藤若菜・福田みちる 男子団体 ベスト16 (対仙台一高0-2) 川田歩輝 佐藤央進 寺澤俊太 村上尚之 高岡隆作 男子シングルス ベスト32 佐藤央進 男子ダブルス ベスト8 佐藤央進・川田歩輝 ベスト8 井上竜之介・菅野了寛	バスケットボール部	2回戦 仙台二20-0 仙台大明成 (不戦勝) 3回戦 仙台二62-47名取北 4回戦 仙台二45-104東北学院 (県ベスト8) 第5シード決定戦 (中止)
	新人大会 男子団体 ベスト16 (対宮城一高2-3) 高岡隆作 村上尚之 寺澤俊太 岩田陸斗 藤原友弥 大江遙士 星野崇史 大内慧太 久保聡太 女子団体 (4人制) 対富谷1-2 菅原彩乃 熊谷真裕奈 増本明里 佐々木麗 (*個人戦は中止)	バレーボール部	仙台二高一高三部定期戦 (5/15~5/15) 男子 仙台二2-3 仙台一 女子 仙台二0-2 仙台一 第70回宮城県高等学校総合体育大会バレーボール競技 (6/4~6/7) 女子 1回戦 仙台二0-2 聖和学園 男子 1回戦 仙台二2-0 名取 2回戦 仙台二1-2 石巻商 第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会 1次予選 (10/5~10/8) 女子 1回戦 仙台二0-2 宮城第一 男子 1回戦 仙台二2-0 気仙沼向洋 2回戦 仙台二2-0 仙台三 3回戦 仙台二2-0 角田 第5組第1位で代表決定戦出場 第74回全日本バレーボール高等学校選手権大会 宮城県代表 決定戦 (10/28~10/30) 男子 1回戦 仙台二0-2 石巻工 令和3年度仙台市民総体バレーボール競技高等学校の部 (11/6~11/7) 女子 予選リーグ 仙台二1-2 仙台東 仙台二0-2 常盤学園 仙台二0-2 泉松陵 男子 予選リーグ 仙台二0-2 仙台商 仙台二0-2 学院榴ヶ岡 予選リーグ敗退 令和3年度宮城県高等学校バレーボール競技新人大会 (1/21~1/24) 女子 1回戦 仙台二2-0 気仙沼向洋 2回戦 仙台二0-2 古川学園 男子 1回戦 仙台二2-0 泉館山 2回戦 仙台二2-0 石巻西 3回戦 仙台二0-2 仙台大附明成 ベスト16進出により、令和4年度宮城県高等学校バレーボール男子・女子選手権大会出場決定
	県春季ジュニア大会 女子シングルス ベスト16 (順位決定戦10位) 伊東怜菜 ベスト32 郡山七奈 女子ダブルス ベスト16 伊東怜菜・郡山七奈 男子シングルス ベスト32 佐藤央進 ベスト32 川田歩輝 男子ダブルス ベスト16 佐藤央進・川田歩輝		宮城県選手権大会 (高校総体1次予選会) (4/25~4/29) 男子 ダブルス 木村・正岡組 ベスト32 宮城県高校総体バドミントン競技 個人対抗戦 (5/26~5/29) 男子 ダブルス 木村・正岡組 ベスト32 菅原・小寺組 2回戦敗退 中嶋・鈴木組 初戦敗退 佐藤・立花組 初戦敗退 シングルス 正岡 3回戦敗退 (ベスト64) 木村 2回戦敗退 立花 2回戦敗退 小寺 初戦敗退 女子 ダブルス 伊藤・若生 初戦敗退 鈴木・大槻 初戦敗退 松田・高橋 初戦敗退 小室・和田 初戦敗退 シングルス 若生 3回戦敗退 (ベスト64) 鈴木 3回戦敗退 (ベスト64) 伊藤 2回戦敗退 大槻 2回戦敗退
	県民大会ジュニアの部 男子シングルス ベスト32 寺澤俊太		宮城県高校総体バドミントン競技 学校対抗戦 (6/5~6/7) 男子 1回戦 仙台二2-3 登米総合 女子 1回戦 仙台二1-3 泉館山 宮城県ジュニア選手権大会 (新人大会1次予選会) (7/27~8/1) 男子 ダブルス 正岡・立花 4回戦進出 (ベスト64) シングルス 正岡 準々決勝進出 (ベスト8) 女子 シングルス 若生 5回戦進出 (ベスト64) 令和3年度宮城県高等学校新人大会 個人対抗戦 (10/25~10/26) 男子 ダブルス 正岡・小寺組 ベスト32 (シード権獲得) 中嶋・立花組 ベスト64 シングルス 正岡鴻 3回戦進出 (ベスト64) 女子 ダブルス 若生・高橋組 初戦敗退 シングルス 若生 初戦敗退
	県夏季ジュニア大会 男子シングルス ベスト32 寺澤俊太		令和3年度宮城県高等学校新人大会 学校対抗戦 (11/4) 男子 2回戦 仙台二2-3 登米 女子 2回戦 仙台二2-3 泉
	県冬季ジュニア大会 男子ダブルス ベスト16 寺澤俊太・村上尚之 男子シングルス ベスト32 村上尚之 本戦出場 寺澤俊太 岩田陸斗 大江遙士		
	令和3年度県総体ソフトテニス競技個人戦仙塩地区予選会 (5/16~5/17) 男子 那須野・高山ペア、黒谷・野上ペア 県大会出場 女子個人 県大会出場・遠藤・打矢 ベスト16・今野・桑原・相原 (麻)・柏谷 予選敗退・菊池・宮田・錦戸・相原・山崎・福澤		
	宮城県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 (6/5~6/7) 男子団体戦 2回戦 仙台二②-1 角田 3回戦 仙台二②-0 利府 4回戦 仙台二0-2 聖ウルスラ ベスト16 男子個人戦 黒谷・野上組 1回戦敗退 那須野・高山組 2回戦敗退 女子団体戦 1回戦 対仙台北2-1で勝ち 2回戦 対白石戦2-0で勝ち 3回戦 対石巻西2-0で勝ち 4回戦 対宮城学院0-2で負け県ベスト8 女子個人戦 海野・三浦 4回戦敗退 ベスト32 今野・桑原 4回戦敗退 ベスト32 遠藤・打矢 3回戦敗退 相原・柏谷 1回戦敗退 4回戦 対宮城学院 0-2で負け 海野・三浦 3-4、今野・柏谷 0-4、 遠藤・打矢 2-1 途中打ち切り 県ベスト8		
	第62回仙塩地区高等学校ソフトテニス大会 (7/18~) Aチーム 予選リーグ3戦全勝 (育英2-1 二華2-1 宮12-1) 決勝トーナメント (1位組) 1R尚綱2-1 2R常磐木0-2 総合3位で表彰を受ける Bチーム 予選リーグ2戦1敗 (育英・宮12-1 松陵・仙商3-0 仙南0-3) 決勝トーナメント (2位組) 1R尚綱1-2		
	第25回宮城県高等学校ソフトテニス夏季大会 (8/10~8/12) 男子 藤田・木村ペア 1回戦敗退 熊谷・浜崎ペア、小野寺・金ペア 2回戦敗退 女子 今野・桑原 4回戦進出 ベスト32 遠藤・柏谷 4回戦進出 ベスト32 宮田・打矢初戦敗退 菅野・山崎 2回戦進出		
	令和3年度宮城県高等学校ソフトテニス新人大会仙塩地区予選会 (10/18~10/19) 男子 藤田・木村ペア 県大会出場		
ソフトテニス部	令和3年度県総体ソフトテニス競技個人戦仙塩地区予選会 (5/16~5/17) 男子 那須野・高山ペア、黒谷・野上ペア 県大会出場 女子個人 県大会出場・遠藤・打矢 ベスト16・今野・桑原・相原 (麻)・柏谷 予選敗退・菊池・宮田・錦戸・相原・山崎・福澤	バドミントン部	宮城県選手権大会 (高校総体1次予選会) (4/25~4/29) 男子 ダブルス 木村・正岡組 ベスト32 宮城県高校総体バドミントン競技 個人対抗戦 (5/26~5/29) 男子 ダブルス 木村・正岡組 ベスト32 菅原・小寺組 2回戦敗退 中嶋・鈴木組 初戦敗退 佐藤・立花組 初戦敗退 シングルス 正岡 3回戦敗退 (ベスト64) 木村 2回戦敗退 立花 2回戦敗退 小寺 初戦敗退 女子 ダブルス 伊藤・若生 初戦敗退 鈴木・大槻 初戦敗退 松田・高橋 初戦敗退 小室・和田 初戦敗退 シングルス 若生 3回戦敗退 (ベスト64) 鈴木 3回戦敗退 (ベスト64) 伊藤 2回戦敗退 大槻 2回戦敗退
	宮城県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 (6/5~6/7) 男子団体戦 2回戦 仙台二②-1 角田 3回戦 仙台二②-0 利府 4回戦 仙台二0-2 聖ウルスラ ベスト16 男子個人戦 黒谷・野上組 1回戦敗退 那須野・高山組 2回戦敗退 女子団体戦 1回戦 対仙台北2-1で勝ち 2回戦 対白石戦2-0で勝ち 3回戦 対石巻西2-0で勝ち 4回戦 対宮城学院0-2で負け県ベスト8 女子個人戦 海野・三浦 4回戦敗退 ベスト32 今野・桑原 4回戦敗退 ベスト32 遠藤・打矢 3回戦敗退 相原・柏谷 1回戦敗退 4回戦 対宮城学院 0-2で負け 海野・三浦 3-4、今野・柏谷 0-4、 遠藤・打矢 2-1 途中打ち切り 県ベスト8		宮城県高校総体バドミントン競技 学校対抗戦 (6/5~6/7) 男子 1回戦 仙台二2-3 登米総合 女子 1回戦 仙台二1-3 泉館山 宮城県ジュニア選手権大会 (新人大会1次予選会) (7/27~8/1) 男子 ダブルス 正岡・立花 4回戦進出 (ベスト64) シングルス 正岡 準々決勝進出 (ベスト8) 女子 シングルス 若生 5回戦進出 (ベスト64) 令和3年度宮城県高等学校新人大会 個人対抗戦 (10/25~10/26) 男子 ダブルス 正岡・小寺組 ベスト32 (シード権獲得) 中嶋・立花組 ベスト64 シングルス 正岡鴻 3回戦進出 (ベスト64) 女子 ダブルス 若生・高橋組 初戦敗退 シングルス 若生 初戦敗退

部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）	部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）
水 泳 部	金山 慎② 決勝第 4 位 東北新人大会出場 女子100m自由形 阿部里彩② 決勝第 3 位 東北新人大会出場 男子200m背泳ぎ 岩間隆太② 決勝第 4 位 東北新人大会出場 女子200m平泳ぎ 阿部未梨② 決勝第 2 位 東北新人大会出場 女子400m自由形 小島聡子② 決勝第 7 位 男子200m個人メドレー 金山 慎② 決勝第 5 位 中嶋睦海① 決勝第 6 位 男子100m背泳ぎ 岩間隆太② 決勝第 2 位 東北新人大会出場 女子200m自由形 小島聡子② 決勝第 7 位 女子100m平泳ぎ 阿部未梨② 決勝第 2 位 東北新人大会出場 女子4×100mメドレーリレー 宮地和月① 阿部里彩② 阿部未梨② 小島聡子② 決勝第 4 位 東北新人大会出場 男子4×100mメドレーリレー 岩間隆太② 金山 慎② 上原伊入② 中嶋睦海① 決勝第 4 位 東北新人大会出場 女子4×100mフリーリレー 小島聡子② 宮地和月① 阿部未梨② 阿部里彩② 決勝第 3 位 東北新人大会出場 学校対抗 男子第 5 位 女子第 5 位 第29回東北高等学校新人水泳競技大会（11/5～11/6） 男子400m個人メドレー 金山 慎② 予選 9 位 女子100m自由形 阿部里彩② 予選19位 男子200m背泳ぎ 岩間隆太② 決勝第 4 位 女子200m平泳ぎ 阿部未梨② 予選12位 男子100m背泳ぎ 岩間隆太② 決勝第 4 位 女子100m平泳ぎ 阿部未梨② 予選12位 女子4×100mメドレーリレー 宮地和月① 阿部里彩② 阿部未梨② 小島聡子② 予選14位 男子4×100mメドレーリレー 岩間隆太② 金山 慎② 上原伊入② 中嶋睦海① 予選11位 女子4×100mフリーリレー 小島聡子② 宮地和月① 阿部未梨② 阿部里彩② 予選10位 第76回国民体育大会水泳競技大会宮城県最終予選会（8/2） 女子50m自由形 少年A 阿部里彩② 決勝第 6 位 女子200m平泳ぎ 少年A 阿部未梨② 決勝第 6 位 女子100m自由形 少年A 阿部里彩② 決勝第 8 位 女子400m個人メドレー 少年A 阿部未梨② 決勝第 3 位 男子400m個人メドレー 少年A 金山 慎② 決勝第 3 位 県高校総体水球競技（6/20～） 仙台二高 第二位 県高校新人戦水球競技（10/24～） 優勝 仙台二高 8－7 柴田高校	女子 今野・打矢 7 回戦進出 ベスト 4 遠藤・柏谷 5 回戦進出 ベスト16 宮田・桑原 3 回戦敗退 敗者復活初戦勝利 県大会へ 錦戸・相原 2 回戦敗退 福澤・山崎 2 回戦敗退 菅野・相原 2 回戦敗退 令和 3 年度宮城県高等学校ソフトテニス新人大会 （11/4～11/6） 男子個人戦 藤田・木村ペア 2 回戦敗退 男子団体戦 1 回戦 仙台二 0－②佐沼 女子団体戦 第 6 シード 2 回戦 対仙台一高 2－0 3 回戦 対石巻西 2－1 4 回戦準々決勝 対聖ウルスラ 1－2 県ベスト 8 女子個人戦 今野・打矢 4 回戦敗退 ベスト16 遠藤・柏谷 2 回戦敗退 宮田・桑原 2 回戦敗退 令和 3 年度 宮城県高等学校ソフトテニスインドア大会 （12/23～12/25） 個人戦 今野・打矢 予選リーグ敗退 団体戦 予選リーグ敗退	
	第29回東北高等学校新人水泳競技大会（11/5～11/6） 男子400m個人メドレー 金山 慎② 予選 9 位 女子100m自由形 阿部里彩② 予選19位 男子200m背泳ぎ 岩間隆太② 決勝第 4 位 女子200m平泳ぎ 阿部未梨② 予選12位 男子100m背泳ぎ 岩間隆太② 決勝第 4 位 女子100m平泳ぎ 阿部未梨② 予選12位 女子4×100mメドレーリレー 宮地和月① 阿部里彩② 阿部未梨② 小島聡子② 予選14位 男子4×100mメドレーリレー 岩間隆太② 金山 慎② 上原伊入② 中嶋睦海① 予選11位 女子4×100mフリーリレー 小島聡子② 宮地和月① 阿部未梨② 阿部里彩② 予選10位 第76回国民体育大会水泳競技大会宮城県最終予選会（8/2） 女子50m自由形 少年A 阿部里彩② 決勝第 6 位 女子200m平泳ぎ 少年A 阿部未梨② 決勝第 6 位 女子100m自由形 少年A 阿部里彩② 決勝第 8 位 女子400m個人メドレー 少年A 阿部未梨② 決勝第 3 位 男子400m個人メドレー 少年A 金山 慎② 決勝第 3 位 県高校総体水球競技（6/20～） 仙台二高 第二位 県高校新人戦水球競技（10/24～） 優勝 仙台二高 8－7 柴田高校	令和 3 年度宮城県高等学校総合体育大会水泳競技大会 （6/11～6/13） 女子400m個人メドレー 阿部未梨② 決勝 4 位 東北大会出場 男子400m個人メドレー 金山 慎② 決勝 5 位 東北大会出場 男子200mバタフライ 東凌太郎③ 決勝10位 男子200m背泳ぎ 岩間隆太② 決勝 3 位 東北大会出場 女子100mバタフライ 阿部里彩② 決勝 9 位 女子200m個人メドレー 阿部未梨② 決勝 5 位 東北大会出場 男子200m個人メドレー 金山 慎② 決勝 7 位 東北大会出場 中嶋睦海① 決勝10位 女子100m自由形 阿部里彩② 決勝 5 位 東北大会出場 男子100m背泳ぎ 岩間隆太② 決勝 3 位 東北大会出場 女子4×100mフリーリレー 阿部里彩② 阿部未梨② 宮地和月① 小島聡子② 決勝 5 位 東北大会出場 男子4×100mフリーリレー 岩間隆太② 東凌太郎③ 金山 慎② 中嶋睦海① 決勝 7 位 東北大会出場 女子4×100mメドレーリレー 宮地和月① 阿部里彩② 阿部未梨② 小島聡子② 決勝 7 位 東北大会出場 男子4×100mメドレーリレー 岩間隆太② 金山 慎② 東凌太郎③ 中嶋睦海① 決勝 4 位 東北大会出場 男子4×200mフリーリレー 中嶋睦海① 東凌太郎③ 金山 慎② 岩間隆太② 決勝 5 位 東北大会出場 ※リレー競技は、東北大会では実施せず、ランキング掲載、インターハイ出場判定のみ実施。 インターハイでもリレーは実施しない。 第69回東北高等学校選手権水泳競技大会（7/16～7/18） 女子400m個人メドレー 阿部未梨② 予選16位 男子400m個人メドレー 金山 慎② 予選12位 男子200m背泳ぎ 岩間隆太② 棄権（肩の痛み） 女子200m個人メドレー 阿部未梨② 予選25位 男子200m個人メドレー 金山 慎② 予選19位 男子100m背泳ぎ 岩間隆太② 棄権（肩の痛み） 女子100m自由形 阿部里彩② 予選20位 女子4×100mフリーリレー 阿部里彩② 阿部未梨② 宮地和月① 小島聡子② ランキング21位 男子4×100mフリーリレー 岩間隆太② 東凌太郎③ 金山 慎② 中嶋睦海① ランキング30位 女子4×100mメドレーリレー 宮地和月① 阿部里彩② 阿部未梨② 小島聡子② ランキング24位 男子4×100mメドレーリレー 岩間隆太② 金山 慎② 東凌太郎③ 中嶋睦海① ランキング16位 男子4×200mフリーリレー 中嶋睦海① 東凌太郎③ 金山 慎② 岩間隆太② ランキング24位 （リレー競技は県大会の記録によるランキング） 2021年度宮城県高等学校新人水泳競技大会（9/17～9/19） 男子400m個人メドレー	
卓 球 部	宮城県高等学校総合体育大会卓球競技仙塩地区予選会 （5/8～5/18） 男子学校対抗 予選トーナメント 1 回戦 仙台二 3－1 泉 2 回戦 仙台二 3－0 仙台城南 県大会出場決定 決勝トーナメント 2 回戦 仙台二 0－3 利府 惜敗 女子学校対抗 予選トーナメント 1 回戦 仙台二 1－3 仙台向山 第 2 次敗者復活戦 2 回戦 仙台二 3－0 松島 第 2 次敗者復活戦 3 回戦 仙台二 3－1 泉松陵 県大会出場決定 男子シングルス 藤倉③ 木村③ 内田③ 佐藤（純）③ 阿部（快）② 川村① 小杉① 県大会出場決定 男子ダブルス 木村③・川村① 県大会出場決定 女子シングルス 境② 県大会出場決定 女子ダブルス 県大会出場ならず 宮城県高等学校総合体育大会卓球競技（5/29～6/7） 男子学校対抗 2 回戦 仙台二 0－3 利府 惜敗 女子学校対抗 2 回戦 仙台二 3－0 仙台西 3 回戦 仙台二 0－3 岩出山 惜敗 男子シングルス 川村① 準々決勝敗退 県ベスト 8 小杉① 3 回戦敗退 県ベスト64 藤倉③ 木村③ 内田③ 佐藤（純）③ 阿部（快）② 2 回戦敗退 男子ダブルス 木村③・川村① 2 回戦敗退 県ベスト16 女子シングルス 境② 3 回戦敗退 県ベスト64 国民体育大会卓球競技（少年の部）宮城県予選（7/17～） 男子個人 川村① 4 回戦敗退 阿部（快）② 3 回戦敗退		

部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）	部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）
フェンシング部	令和3年度宮城県フェンシング選抜選手権大会（団体戦） (12/24～12/25) 女子フルーレ 第3位 仙台二高（新原、小山、佐藤、高橋、三宅） 女子サーブル 第2位 仙台二高（小山、飛世、大川口、佐藤） 令和3年度宮城県フェンシング選抜選手権大会（個人戦） (1/14～1/15) 女子エペ 第2位 高橋葵	卓 球 部	小杉① 2回戦敗退 女子個人 境② 2回戦敗退 全日本卓球選手権ジュニアの部仙塩地区予選（8/4～8/5） 男子シングルス 今岡② 阿部(快)② 薄木② 県大会出場 女子シングルス 石井② 小野② 境② 工藤① 鈴木(悠)① 県大会出場 全日本卓球選手権ジュニアの部宮城県予選会（10/23～） 女子シングルス 境② 工藤① 鈴木(悠)① 3回戦敗退 石井② 小野② 2回戦敗退 全日本卓球選手権ジュニアの部宮城県予選会（11/13～） 男子シングルス 川村① 5回戦敗退 ベスト16 阿部(快)② 今岡② 3回戦敗退 薄木② 2回戦敗退 宮城県高等学校新人卓球大会仙塩地区予選会(10/14～10/17) 男子学校対抗 予選トーナメント 1回戦 仙台二3-0 仙台商 2回戦 仙台二3-0 聖ウルスラ 県大会出場 決勝トーナメント 1回戦 仙台二3-0 2回戦 仙台二2-3 東北学院 5位決定戦 仙台二2-3 塩釜 惜敗 女子学校対抗 予選トーナメント 2回戦 仙台二3-0 泉館山 県大会出場 決勝トーナメント 2回戦 仙台二3-1 仙台一 準決勝 仙台二0-3 聖和 3位決定戦 仙台二0-3 聖ウルスラ 第三位 男子シングルス 薄木② 今岡② 寺崎② 県大会出場決定 女子シングルス 石井② 境② 工藤① 鈴木(悠)① 岩間① 県大会出場決定 宮城県高等学校新人卓球大会（11/3～11/6） 男子学校対抗 2回戦 仙台二0-3 古川工業 惜敗 女子学校対抗 2回戦 仙台二3-2 仙台商業 3回戦 仙台二3-0 本吉響 4回戦 仙台二0-3 聖ウルスラ ベスト8 男子シングルス 川村① 4回戦敗退 ベスト32 寺崎② 3回戦敗退 薄木② 今岡② 2回戦敗退 女子シングルス 境② 工藤① 鈴木(悠)① 3回戦敗退 石井② 岩間① 2回戦敗退 全国高校選抜卓球大会県予選（12/19） 男子シングルス 川村① 5回戦敗退 ベスト8 寺崎② 今岡② 阿部(快)② 2回戦敗退 小杉① 1回戦敗退 女子シングルス 鈴木(悠)① 3回戦敗退 ベスト16 境② 2回戦敗退 工藤① 1回戦敗退
剣 道 部	宮城県高等学校総合体育大会剣道競技（6/5～6/7） 男子個人戦 西村 3回戦敗退 石川1回戦敗退 女子個人戦 箱島 3回戦敗退 上野 3回戦敗退 女子団体戦予選リーグ 対石巻高1-0で勝 対佐沼高0-3で負 予選リーグ敗退 男子団体戦予選リーグ 対仙台育英0-3で負 対東北高4-1で勝 予選リーグ敗退 宮城県高体連仙塩支部剣道新人大会（8/9） 男子団体 1回戦 対仙台三桜高 2-0で勝 2回戦 対仙台高3-2で勝 3回戦 対仙台二華高3-0で勝 準々決勝 対仙台育英学園1-3で負 第3位 宮城県高等学校剣道新人大会（11/13） 男子個人戦 石川 2回戦敗退 日山 3回戦敗退 男子団体戦予選リーグ 対石巻好文館3-1で勝 対仙台大明成1-2で負 予選リーグ敗退	フェンシング部	令和3年度宮城県高等学校総合体育大会フェンシング競技 (6/4～6/7) 女子個人対抗フルーレ 第8位 鈴木百音 女子個人対抗エペ 第2位 大和田共笑 女子学校対抗フルーレ 仙台二高（大和田、今本、鈴木、小山、新原） 1回戦 0-V仙台一 令和3年度宮城県民体育大会フェンシング競技（8/7～8/8） 個人フルーレ 少年の部 女子シニア 第3位 小山穂依 団体フルーレ 少年の部 女子 第3位 仙台二高A（新原、小山、高橋） 第58回仙台市民総合体育大会フェンシング競技（10/9） フルーレ個人 ジュニアの部 第3位 高橋葵 同第3位 佐藤撫子 フルーレ個人 シニアの部 第7位 新原稀乃佳 第8位 小山穂依 令和3年度宮城県高等学校新人大会フェンシング競技 (10/28～10/30) 女子個人フルーレ 第8位 新原稀乃佳 女子団体フルーレ 第3位 仙台二高（新原、小山、佐藤、高橋、三宅） 1回戦 V-1 仙台、準決勝 2-V 気仙沼、 シード順位決定戦 V-1 仙台南 2021年度宮城県JOCジュニアオリンピックカップ県予選(11/6) ジュニアの部 女子サーブル 第1位 小山穂依 (全国大会出場) カデの部 女子エペ 第2位 高橋葵（全国大会出場） カデの部 女子サーブル 第2位 佐藤撫子 (全国大会出場)
柔 道 部	宮城県高等学校総合体育大会柔道競技大会（6/5～6/7） 女子団体戦予選リーグ 仙台二（福島優花・齋藤優那・佐竹あかり） 対仙台高専名取1-2敗北 仙台二（福島優花・齋藤優那・石井琴） 対柴田高0-3敗北、予選リーグ敗退 男子個人戦 深見豪 2回戦敗退 安達秀太郎 3回戦敗退 女子個人戦 石井琴、齋藤優那、佐竹あかり、 大内玖瑠海 1回戦敗退 太田結葵 2回戦敗退 福島優花 準決勝敗退 3位入賞 第132回仙塩地区高等学校柔道大会（10/8） 男子団体（仙台一・二・西・多賀城合同チーム） 予選リーグ2敗 男子個人66kg級 深見豪：準優勝 女子個人 石井琴：第三位、大内玖瑠海：第三位、 太田結葵：初戦敗退 第34回大久康杯宮城県公立高等学校柔道大会（10/17） 男子団体（仙台一・二・三・西合同チーム）準々決勝敗退、 深見豪：優秀選手賞 男子個人2年生の部 深見豪：第三位 女子個人 石井琴：第三位・渡邊那美：初戦敗退、 大内玖瑠海：第三位 宮城県高等学校柔道新人大会（11/6～11/7） 女子団体 2回戦敗退 仙台二（大内玖瑠海・石井琴・太田結葵）対仙台高専名 取1-1 代表決定戦（大内）敗退 男子個人戦 66kg級 深見豪 1回戦不戦勝、2回戦敗退 女子個人戦 石井琴 1回戦敗退、渡邊那美 2回戦敗退 大内玖瑠海 1回戦敗退 太田結葵 2回戦棄権 第44回全国高等学校柔道選手権大会宮城県大会 (12/22～12/23) 男子個人 60kg級 深見豪 1回戦棄権 女子個人 大内玖瑠海・石井琴 2回戦敗退、 渡邊那美 1回戦敗退 太田結葵 2回戦棄権	弓 道 部	令和3年度仙台塩釜地区高等学校春季弓道大会（5/20） 渡邊鈴乃輔、今野千裕が県大会出場権獲得 第70回宮城県高等学校総合体育大会弓道競技（6/5～6/7） 男子団体 2次予選 女子団体 1次予選 男子個人 渡邊鈴乃輔 2次予選 女子個人 今野千裕 2次予選 令和3年度仙台西地区高等学校秋季弓道大会（10/15） 渡邊鈴乃輔、工藤隼、木村玲音、松尾悠由、福田光梨、 笠羽朋子が県大会出場権獲得

部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）	部 名	活動実績（大会名・実績・選手名）
ヨ ッ ト 部	2021年度北海道東北420級セーリング選手権大会 (11/6～11/7) レーザーラジアル級 八木杏奈 優勝	弓 道 部	令和 3 年度宮城県高等学校新人大会弓道競技(10/31～11/2) 男子団体 準優勝(射道優秀賞) 東北高等学校選抜弓道大会出場権獲得 女子団体 準々決勝(ベスト 8) 男子個人 渡邊鈴乃輔 準決勝 工藤稚準 2 次予選 木村玲音 1 次予選 女子個人 松尾悠由、福田光梨、笠羽朋子 1 次予選 第40回全国高等学校弓道選抜大会東北ブロック代表予選会 (11/19) 男子団体 6 チーム中 2 位 第40回東北高等学校弓道選抜大会(11/20～11/21) 男子団体 予選敗退(11 位)
ス キ ー 部	第70回宮城県高等学校総合体育大会スキー競技会 (1/8～1/10) 男子GSL 第 9 位 田中裕一郎 第11位 宮城翔宇 第12位 宮崎ローレンス 女子GSL 第 3 位 中村美波 第 5 位 岡崎祐理 第 6 位 岩瀬結有 男子SL 第 6 位 田中裕一郎 第 9 位 宮城翔宇 第10位 宮崎ローレンス 女子SL 第 3 位 中村美波 第 5 位 岡崎祐理 第 6 位 岩瀬結有 男子総合 第 7 位 女子総合 第 1 位 第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会宮城県予選会 (1/15～1/17) 男子GSL 第 6 位 田中裕一郎 第13位 宮城翔宇 第14位 宮崎ローレンス 女子GSL 第 3 位 中村美波 第 4 位 岡崎祐理 第 5 位 岩瀬結有 第41回東北高等学校スキー選手権大会(1/26～1/28) 男子GSL 第59位 宮城翔宇 女子GSL 第29位 中村美波 第32位 岡崎祐理 女子SL 第28位 中村美波 第31位 岡崎祐理 第70回全国高等学校総合体育大会スキー競技会(2/6～2/10) 女子GSL 第98位 中村美波 女子SL 第74位 中村美波 第99位 岡崎祐理	山 岳 部	第70回宮城県高等学校総合体育大会登山大会(6/5～6/7) 男子縦走 8 位 第70回宮城県高等学校総合体育大会登山大会(6/5～6/7) 女子縦走 3 位(古川高校との合同チーム) 令和 3 年度第51回宮城県高等学校体育連盟登山専門部新人大会(10/8～10/10) 男子縦走 3 位
そ の 他	ベガルタ杯高校選抜ソフトテニス大会(7/24～7/25) 女子Aチーム 予選リーグ 3 戦全勝 常磐木 B 3 - 0 青陵 A 3 - 0 松陵 A 3 - 0 決勝リーグ 2 戦 2 勝 生文大 A 2 - 1 角田 3 - 0 優勝決定戦勝利 常磐木 A 2 - 1 A チームは優勝 女子Bチーム 予選リーグ 2 戦全勝 二華 B 松陵 C 仙西 C 3 - 0 利府 B 2 - 1 決勝リーグ 2 敗 育英 B 角田 B A 1 - 2 三桜 B 1 - 2 順位決定戦勝利 石西 B 多賀城 B 2 - 1 3 位同士の試合で勝利し、総合 5 位 国民体育大会ハンドボール競技少年の部宮城県第一次予選会 (7/21～7/23) 2 回戦 仙台二13 - 20仙台一	ヨ ッ ト 部	宮城県高等学校総合体育大会ヨット競技(6/5～6/6) 男子420級(団体戦) 第 1 位 (渡辺凌大・高橋優斗) 男子コンバインド(団体戦) 第 2 位 男子レーザーラジアル級(個人戦) 熊谷凌太郎 第 1 位 女子レーザーラジアル級(個人戦) 八木杏奈 第 1 位 東北高等学校ヨット選手権大会(兼全国総体予選) (6/18～6/20) 男子420級(団体戦) 第 5 位 (渡辺凌大・高橋優斗) インターハイ出場権獲得 男子コンバインド(団体戦) 第 4 位 男子レーザーラジアル級(個人戦) 熊谷凌太郎 第 2 位 インターハイ出場権獲得 女子コンバインド(団体戦) 第 4 位 女子レーザーラジアル級(個人戦) 八木杏奈 第 1 位 インターハイ出場権獲得 第76回国民体育大会セーリング競技宮城県選手選考会 (7/17～7/18) 八木杏奈 少年女子レーザーラジアル級 第 1 位 (三重国体出場決定) 令和 3 年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技 (8/12～8/16) 男子420級(団体戦) 第45位 男子コンバインド(団体戦) 第51位 男子レーザーラジアル級(個人戦) 第32位 女子コンバインド(団体戦) 第34位 女子レーザーラジアル級(個人戦) 第18位 令和 3 年度宮城県高等学校ヨット新人大会(10/23～10/24) 女子レーザーラジアル級 八木杏奈 第 1 位

部活動の記録／学芸部成績

部 名	成 績
美 術 部	第71回仙台市内高等学校美術展(7/8～7/11) 美研会長賞(齋藤美帆) 第71回仙台市内高等学校美術展(7/8～7/11) 優秀賞(安倍麻衣子) 第15回東北の建築を描く展 特別賞(安倍麻衣子) 第33回森と湖のある風景画コンクール 佳作(安倍麻衣子) 第74回宮城県高等学校美術展覧会(2/4～2/6) 優秀賞「憧憬」 2 - 2 安倍麻衣子 奨励賞「歩く家」 2 - 5 井村和馬
物 理 部	第74回宮城県高等学校生徒理科研究発表会(11/2～11/2) 物理部門最優秀賞 「立方体に張られるシャボン膜における面積最小則の破れ」 1 年 伊藤義匡 2 年 後藤 隆 持田姫良 鶴田結 中村一葵 田中隆太 来年度とうきょう総文に出場 第45回全国高等学校総合文化祭わかやま総文2021(8/1～) 研究発表物理部門「超音波浮遊と水平移動 ～横方向の強度を探る～」 3 年 松宮広空 我妻竜真 野口航 神田敦郎 千葉明輝
化 学 部	第74回宮城県高等学校生徒理科研究発表会(11/2) 最優秀賞「有機溶媒中での電気分解についての探究」 2 年 熊澤康太郎 来年度とうきょう総文に出場 第65回日本学生科学賞宮城県審査高校の部 最優秀賞「有機溶媒中での亜鉛電解の探究」 2 年 熊澤康太郎 優秀賞「スズ樹の集合体の発生についての研究」 2 年 早見和希

部 名	成 績
生 物 部	第74回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (11/2～11/2) 優秀賞 納豆菌によるカイワレの育成促進に関する研究 1年 植田郁、鈴木ちか
地 学 部	第74回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (11/2) 最優秀賞「μ-粒子の性質の研究」 2年 岩井柊馬 小川真結
吹 奏 楽 部	第64回宮城県吹奏楽コンクール予選仙台青葉・泉地区大会 (7/24) 高等学校の部 銀賞 第64回宮城県吹奏楽コンクール (8/5) 高等学校の部 銀賞 第55回宮城県アンサンブルコンテスト予選仙台青葉地区大会 (12/11) フルート四重奏 金賞 (県大会出場)、クラリネット六重奏 金賞、サクソフォン六重奏 金賞、木管四重奏 金賞 (県大会出場) 第55回宮城県アンサンブルコンテスト (1/16) フルート四重奏 銀賞、木管四重奏 金賞
合 唱 部	第88回NHK全国学校音楽コンクール宮城県大会 奨励賞 第33回宮城県合唱アンサンブルコンテスト 銅賞
囲 碁 部	第45回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権宮城県大会 男子団体 第1位 佐藤優太郎 三浦淑 塚原志哉 女子団体 第2位 松本明莉 佐藤天音 加藤美奈 男子個人 第2位 三浦淑 第3位 佐藤優太郎 級位者戦C組 第1位 高橋啓大 第35回東北地区高等学校囲碁選手権大会 団体戦 1位 宮城県 (副将 三浦淑) 個人戦 優秀選手賞 三浦淑 (全国大会出場) 宮城県高等学校九路盤大会 3位 三浦淑 4位 宇田川雄基
将 棋 部	第57回全国高等学校将棋選手権大会宮城県予選大会 (5/22) 女子個人 第1位 都築未佳 第4位 今本薫礼 女子団体 第1位 谷さくら・小室結・岡崎理倅 男子団体 第5位 福田耕太郎・千葉昂誉・坂爪駿介 第57回全国高等学校将棋選手権大会 (7/31～8/1) 女子個人 第5位 都築未佳 女子団体 予選敗退 (1勝3敗) 谷さくら・小室結・岡崎理倅 第38回宮城県高等学校将棋新人大会 (11/3) 男子個人A級 第7位 坂爪駿介 男子個人B級 第1位 千葉昂誉 男子個人B級 第5位 井村和馬 女子個人 第2位 谷さくら 女子個人 第4位 岡崎理倅 第22回東北地区高等学校将棋新人大会 (12/18) 女子個人 第12位 谷さくら 第30回全国高等学校文化連盟将棋新人大会 (1/28～1/29) 女子個人 予選敗退 (1勝2敗) 谷さくら
書 道 部	第70回宮城県高等学校書道展覧会 (12/8～) 漢字の部 特選：大槻ひとか・佐藤麻由 金賞：延原涼夏・阿部未梨・奈良ほのか 入選：土川真優子・石川美月・庄子結葉 第40回日本刻字展 (高校生の部) 優秀賞：土川真優子・庄子結葉 秀作賞：石川美月・佐藤麻由
放 送 部	第67回NHK杯全国高校放送コンテスト宮城県大会 (6/18) 朗読部門 最優秀賞 小山華、優秀賞 (2位) 石塚未希子、優良賞 相澤知優 アナウンス部門 優秀賞 (2位) 菅原こころ、優良賞 小山奈々、首藤聖花、斎藤綾乃 ラジオドキュメント部門 優良賞「空白の75」 第68回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会 (7月) (web開催) 入選 小山華、ほか石塚未希子・菅原こころ出場 第45回全国高等学校総合文化祭2021わかやま総文祭 (8/4～8/5) 朗読部門 石塚未希子、アナウンス部門 斎藤綾乃、オーディオビジュアル部門「寄席さ来て笑っべ!」 第40回宮城県高校放送コンテスト新人大会 (11/12～) オーディオメッセージ部門 最優秀賞「交通安全の音」(とうきょう総文2022出場) ラジオキャンペーン部門 優秀賞 (2位) 「最強のご飯のお供は」(東北大会出場) 朗読部門 優良賞 佐藤あかり (東北大会出場) アナウンス部門 優良賞 小山奈々 (東北大会出場)、菅原こころ、首藤聖花
軽 音 楽 部	第7回宮城県高校対抗バンド合戦1年生大会 奨励賞 佐藤悠太 松村史夏 杉田知泰 三浦篤紀 西巻有花 加藤大暉
文 芸 部	第18回宮城県高等学校文芸作品コンクール 短歌部門 優良賞 猿渡峻正 俳句部門 入選 猿渡峻正
そ の 他	第33回森と湖のある風景画コンクール 佳作 (安倍麻衣子) ビブリオバトル宮城県大会 (12/5) 畠山和子 優勝 (全国大会出場)

会 員 計 報

(令和4年5月分まで)

会 員 計 報																																																								
(令和4年5月分まで)																																																								
平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			平成31年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年																																
9/26	小町谷元彦殿	高2回	12/28	窪田 篤殿	高2回	9/28	青砥 孝殿	高30回	4/10	小野 政巳殿	高12回	4/10	金倉那迦雄殿	高12回	7/11	滝口 家弘殿	高12回	11/11	亀井 将一殿	高12回	3/15	松尾 益吉殿	高7回	3/28	佐々木昭夫殿	高2回	6/18	小山 明恒殿	高8回	7/	牧野 文雄殿	高5回	8/1	小松富士男殿	高11回	8/10	高橋 宏一殿	高5回	10/19	小菅 彰殿	中46回	11/	沼畑 芳男殿	中46回	11/7	庄子 道康殿	高37回	11/11	山口 義之殿	高4回	1/29	早坂 茂殿	高9回	5/12	鈴木 英夫殿	高6回
7/31	橋本 隆夫殿	高4回	9/5	曳地 清殿	高7回	10/12	堀田 満殿	中39回	10/20	村上 典夫殿	中46回	10/28	菅原 昌平殿	高18回	12/	堀田 正彦殿	高18回	11/15	宮城 瑞雄殿	高3回	11/26	高橋 邦彦殿	高19回	12/8	中沢 信二殿	中43回	12/18	志賀 隆殿	高6回	12/19	影山 信二殿	高9回	12/25	板橋 李殿	高8回	1/11	向山 秀城殿	高9回	1/22	渡辺 宏幸殿	高27回	1/27	山本 茂殿	高9回	1/29	山際 徳郎殿	高13回	2/	武内 毅殿	高9回	2/3	井上 修一殿	高12回	2/6	佐藤 泰義殿	高1回
2/26	児玉 知殿	高7回	2/27	市川 寛治殿	高5回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	斎藤 直殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/8	中川 潤殿	高23回	2/14	後藤 邦雄殿	高14回	3/12	海老名卓三郎殿	高11回	3/25	耿殿	高10回	4/8	俊朗殿	高15回	5/6	俊彦殿	高4回	5/7	邦明殿	高18回	5/15	宏殿	高5回	5/18	良知殿	高19回	5/19	恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	後藤 邦雄殿	高14回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25	菅野 淑夫殿	高1回	4/7	上田 俊朗殿	高15回	5/6	田淵 俊彦殿	高4回	5/7	松岡 邦明殿	高18回	5/15	米沢 宏殿	高5回	5/18	鈴木 良知殿	高19回	5/19	新野 恒夫殿	高3回	5/28	北川 正伸殿	高4回	5/28	斉藤 彬殿	高5回	6/9	高瀬 紀男殿	高12回	6/17	牛田 敏殿	高4回	6/23	佐藤 和夫殿	高7回	6/27	千葉 忠彦殿	高1回	7/3	小林 啓志殿	高9回	7/31	菊地 武志殿	高6回	8/6	渡邊 修身殿	高10回
2/14	遊佐 紘一殿	高12回	2/15	大木 克夫殿	高6回	3/1	菅原 奎二殿	高9回	3/25																																															

仙台二高同窓会メーリングリスト「再登録」のお願い

同窓会では、会員が相互に情報交換を行うためにメーリングリストを活用してまいりましたが、管理体制の見直しから、今回新たにリストを再構築する運びとなりました。新規登録の方はもちろん、既にメーリングリストに登録され、DM を受け取られていた会員の皆様におかれましても、大変お手数ではございますが、再度の登録をお願い申し上げます。

< mail@sendainiko-dousoukai.com > 宛に、

●タイトルを【メーリングリスト登録】

●本文には、会期（又は卒業年）、お名前を記載いただき、送付いただければと思います。

大変お手数をお掛け致しますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

ご利用下さい！同窓会公式サイト（ホームページ）

仙台二高の Web サイト

<http://www.sendainiko-dousoukai.com> のご案内です。

第一に「住所・連絡先変更」コーナーをご活用下さい。卒業当時の住所から転居した方などが簡単に変更登録出来るようになっています。

第二に「同窓会関連 行事予定一覧（支部会・OB 会・同期会等も含む）」コーナーにて開催予定などを掲載しております。同窓会の公式行事を初め各支部会やサークルなどの OB 会の開催などでもご利用下さい。

同期会の開催案内なども掲載できますので、info@sendainiko-dousoukai.com まで開催情報をお寄せください。同窓生全体の情報のポータルサイトとして、一層のご活用をお願い致します。

二高への交通の便＜仙台駅前から＞

▶仙台市営地下鉄（東西線）・・国際センター駅下車徒歩約 4 分、運賃210円

▶仙台市営バス・・仙台駅前バスプール16番から730、739系統『二高・県美術館前』下車、運賃190円

▶仙台市営市内観光循環バス『るーぷる仙台』・・仙台駅前バスプール15-3番、運賃（1 回券）260円、（1 日券）620円。

（但し、瑞鳳殿、大橋、青葉山、八幡神社等と大きく経由しています。）

編集後記

初めに、新体制で不慣れなことも多く、従来の六月一日に発送できず遅れたことをお詫びいたします。令和四年もコロナ禍が続いていますが、会員皆様のご協力のおかげでなんとか同窓会会報55号を発刊することができました。心より御礼申し上げます。

まだ正常な活動ができない支部もありますが、同窓会入会式・卒業式・入学式・大運動会など、学校行事は滞りなく行われ、同窓会としての関わりもコロナ以前に戻りつつあり、その記事・写真を会報に載せることができました。

また、欠員だった回期にお声がけをし、新たな評議員も選出して頂くことができました。今後とも同窓会活動を活発化させるため努力してまいりますので、同窓会会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

千田 耕一（高23回）

今春の人事異動

▼転出された先生方▲

公平 優子 教諭（英語）
名取北高校 教諭
渡邊 英樹 教諭（英語）
教職員課
坂田美智子 主任主査
総合教育センター 主任主査
後藤 太一 非常勤講師（保健体育）
任期満了

▼転入された先生方▲

篠 健一 技師（庁務）
任期満了（臨時的任用職員）
高橋 賢 校長（社会）
総合教育センター 所長
原 健介 教諭（英語）
仙台三桜高校 教諭
三船 朋子 教諭（英語）
仙台西高校 教諭

大久保哲平 教諭（理科）
白石工業高校 教諭

加藤尚子 養護教諭
名取北高校 養護教諭

今野あきほ 養護教諭
新規任用 臨時的任用講師

河野さやか 主査
宮城県工業高校 主査

佐藤 和吉 主任技師
名取高校 主任技師

森 功 技師（庁務）
臨時的任用職員

西村 渉 非常勤講師（保健体育）
新規採用12h

▼退職された職員▲
後藤 順一 校長（理科）
手代木章宏 教諭（社会）

安藤 欣也 教諭（理科）
再任用 仙台二高

尾形 俊賢 教諭（保健体育）
再任用 仙台二高

三浦 克彦 教諭（理科）
再任用 仙台二高

高橋 晃子 養護教諭（再任用）

金野 智津 養護教諭
森 功 技師（再任用）
菅原 千景 主査
主事から主査へ昇任

▼再任用された先生方▲
村上 悟 教諭（英語）
鈴木 利明 教諭（英語）
手代木章宏 教諭（社会）
尾形 俊賢 教諭（保健体育）
三浦 克彦 教諭（理科）